

秩父市
障がい福祉に関する
アンケート調査報告書

令和5年11月

秩父市

目次

第1章 調査の概要

1 調査の目的.....	3
2 調査設計.....	3
(1) 調査対象者.....	3
(2) 調査方法.....	3
(3) 調査期間.....	3
(4) 調査内容.....	3
3 回収状況.....	3
4 当報告書の見方.....	4

第2章 調査結果

1 回答者の属性.....	7
(1) 調査票の記入者.....	7
(2) 年齢.....	7
(3) 一緒に暮らしている人.....	8
(4) 日常生活について.....	9
(5) 主な介助者.....	12
(6) 介助してくれる方の年齢・健康状態.....	13
(7) 家族からの介助が難しくなったらと考えたときの不安.....	14
2 あなたの障がいの状況について.....	16
3 住まいや暮らしについて.....	21
4 日中活動や就労について.....	23
5 障害福祉サービス等の利用について.....	34
6 相談相手について.....	39
7 権利擁護について.....	41
8 災害時の避難等について.....	44

第3章 付属資料..... 49

○この報告書では、「しょうがい」や「しょうがいしゃ」の用語について、法律上の名称等を除き、「障がい」、(総称として)「障がいのある人」または「障がい者」という表記・表現で統一しています。

第1章 調査の概要

1 調査の目的

秩父市では、障がい福祉サービスを計画的に進めていくため、障害者基本法に基づく「障害者計画」と障害者総合支援法に基づく「第七期障害福祉計画」・児童福祉法に基づく「第三期障害児福祉計画」を一体的に策定することとしました。

このアンケート調査は、当該計画の策定にあたり、障がいのある人（※障がい児を含む）の生活実態や障がい福祉サービスに対する評価、今後の施策ニーズ等を把握し、検討の基礎資料の一つとすることを目的に実施したものです。

2 調査設計

(1) 調査対象者

市内在住の障害者手帳所持者および指定難病等医療受給者（難病患者）から、無作為に以下の人数を抽出しました。人数は重複を含みます。

①身体障害者手帳所持者	637人	
②療育手帳所持者	190人	
③精神障害者保健福祉手帳所持者	149人	
④指定難病等医療受給者	20人	合計996人

(2) 調査方法

郵送による配付・回収

(3) 調査期間

令和5年7月20日～8月11日

(4) 調査内容

- | | |
|-------------------|--------------|
| ①年齢・性別・ご家族などについて | ⑥相談相手について |
| ②障がいの状況について | ⑦権利擁護について |
| ③住まいや暮らしについて | ⑧災害時の避難等について |
| ④日中活動や就労について | ⑨自由意見 |
| ⑤障害福祉サービス等の利用について | |

3 回収状況

	配付数	有効回収数	回収率
全 体	996	514	51.6%

4 当報告書の見方

- ① 回答は、それぞれの質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示しています。それぞれの質問の回答者数を「n」と表記しています。
- ② 回答割合（％）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表記しています。したがって、回答の合計が必ずしも100％にならない場合（99.9％、100.1％など）があります。
- ③ 回答者が2つ以上回答することのできる質問（複数回答形式）については、％の合計は通常、100％を超えています。
- ④ 結果表の各欄で、上段の整数は回答実数（人）を、下段の小数第1位までの数値はその百分率（％）を、それぞれ表しています。
- ⑤ アンケート選択肢の語句が長い場合等、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがあります。

第2章 調査結果

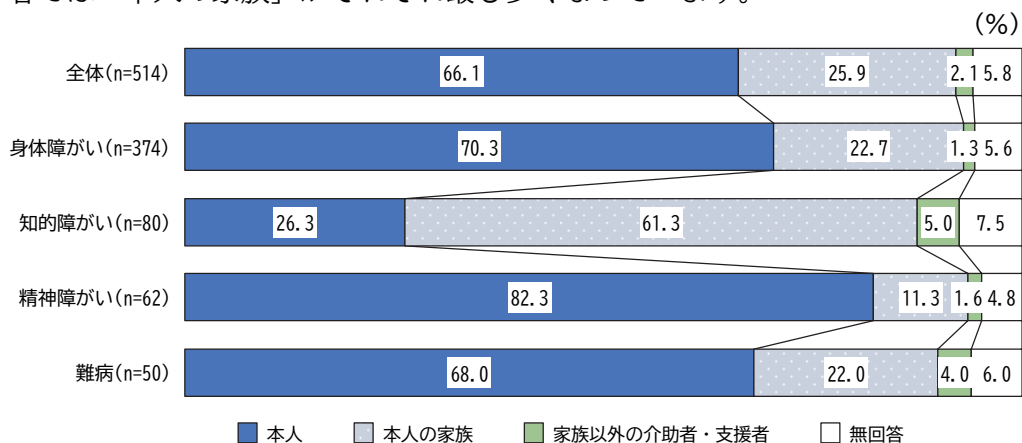
1 回答者の属性

(1) 調査票の記入者

問1 お答えいただくのは、どなたですか。(○は1つだけ)

※これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」と呼びますので、ご本人(この調査票の対象者：障がいのある人)の状況などについて、お答えください。

○「回答者」については、全体と身体、精神障がい者、難病患者では「本人」が、知的障がい者では「本人の家族」がそれぞれ最も多くなっています。



(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。(令和5年7月1日現在)

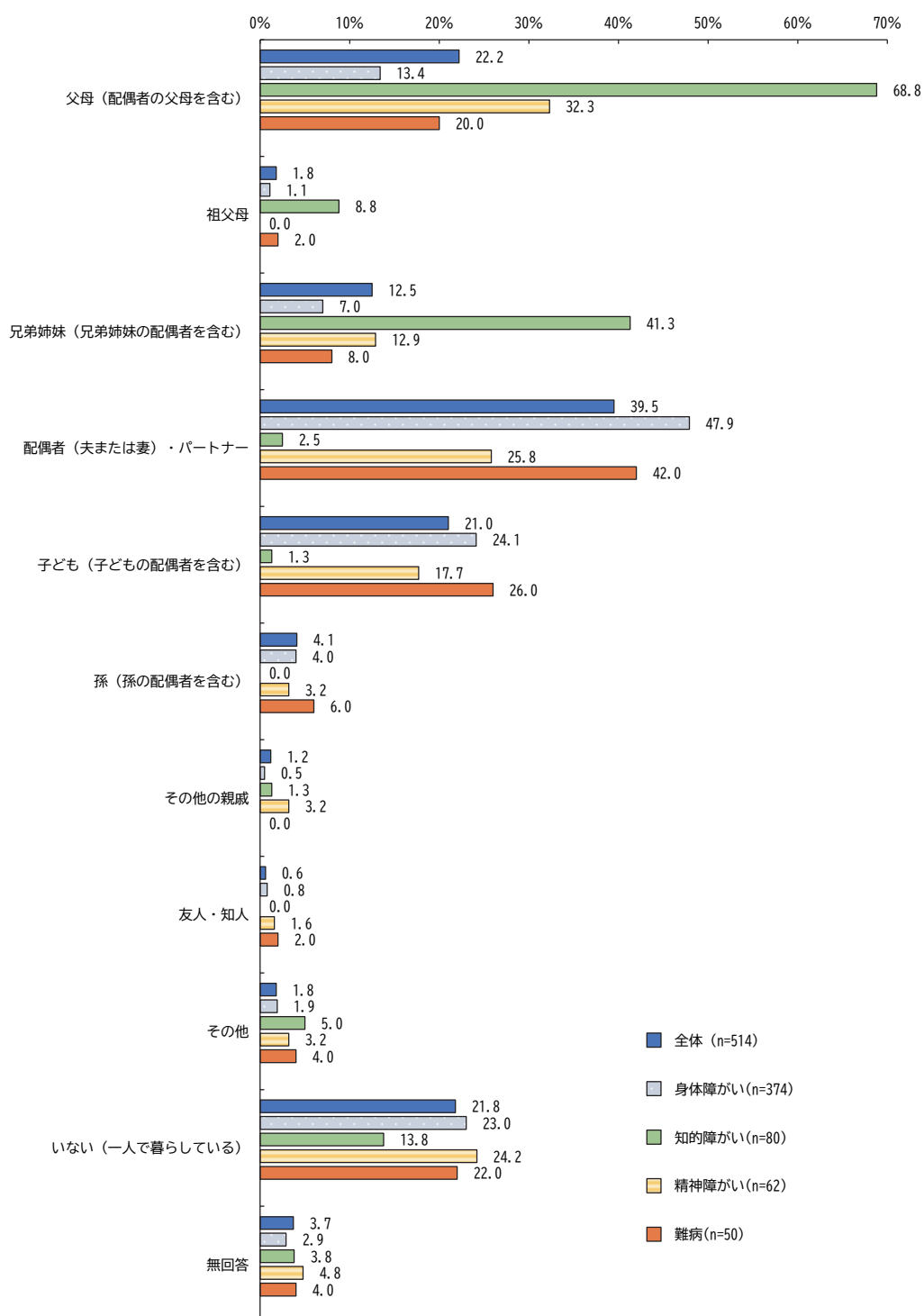
○「年齢」については、全体と身体障がい者および難病患者では「75歳以上」が、知的、精神障がい者では「40歳～64歳」がそれぞれ最も多くなっています。

上段：件数 下段：%		合計	18歳未満	18歳～39歳	40歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上	無回答
全体		514 100.0	23 4.5	50 9.7	131 25.5	97 18.9	193 37.5	20 3.9
障がい種別	身体障がい	374 100.0	9 2.4	12 3.2	81 21.7	84 22.5	174 46.5	14 3.7
	知的障がい	80 100.0	18 22.5	26 32.5	27 33.8	5 6.3	2 2.5	2 2.5
	精神障がい	62 100.0	0 0.0	16 25.8	27 43.5	10 16.1	7 11.3	2 3.2
	難病	50 100.0	2 4.0	5 10.0	14 28.0	9 18.0	17 34.0	3 6.0

(3) 一緒に暮らしている人

問3 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)
 ※グループホーム、福祉施設等を利用されている方は、「10(いない(一人で暮らしている))」と回答してください。

○「一緒に暮らしている人」については、全体と身体障がい者および難病患者では「配偶者(夫または妻)・パートナー」が、知的、精神障がい者では「父母(配偶者の父母を含む)」がそれぞれ最も多くなっています。

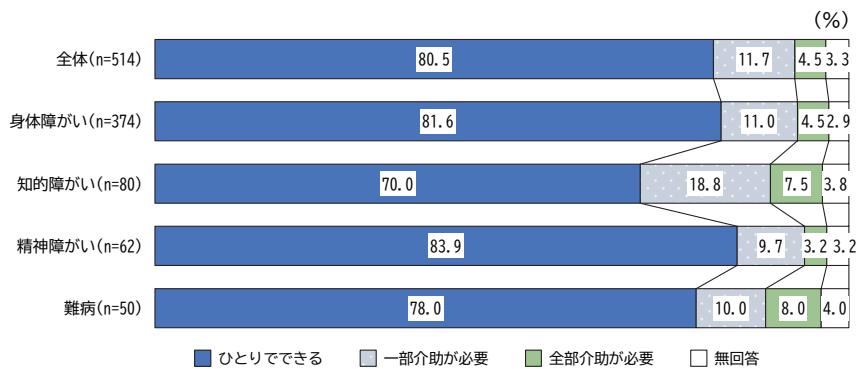


(4) 日常生活について

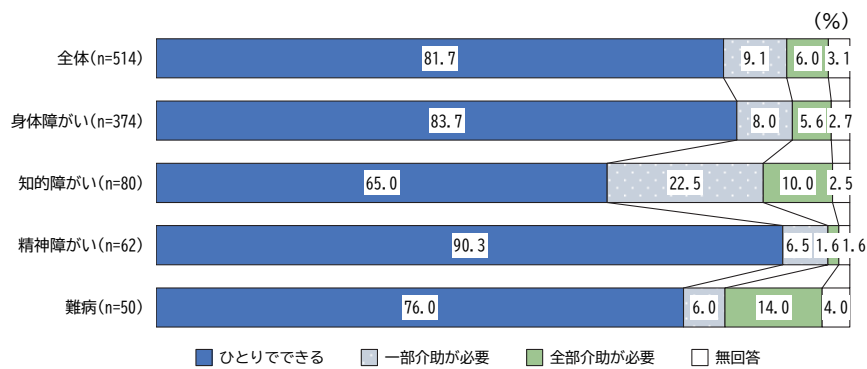
問4 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩それぞれに○を1つずつ)

○「日常生活」については、全般的に「ひとりでできる」が最も多い項目ですが、「ひとりでできる」の割合は知的障がい者で比較的少なく、⑦外出と⑧家族以外の人との意思疎通では「一部介助が必要」が、⑨お金の管理と⑩薬の管理では「全部介助が必要」が、それぞれ最も多い回答となっています。

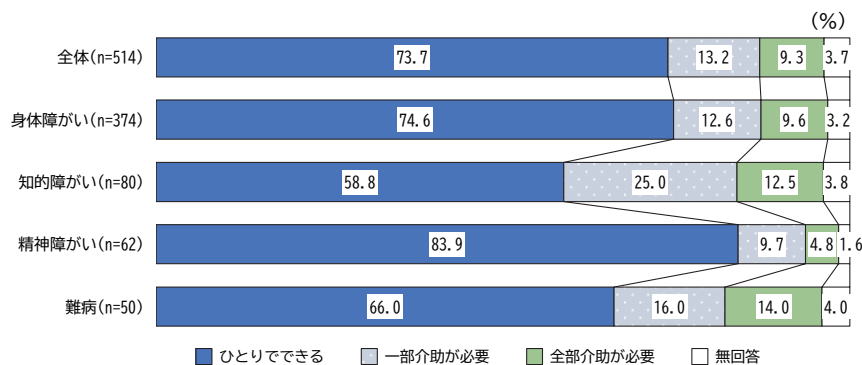
① 食事



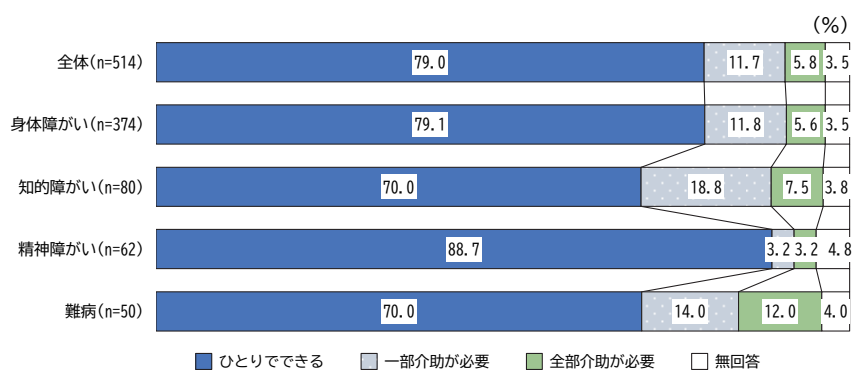
② トイレ



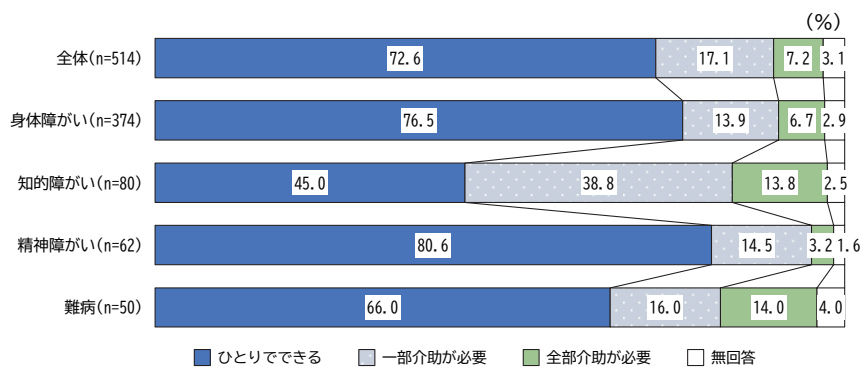
③ 入浴



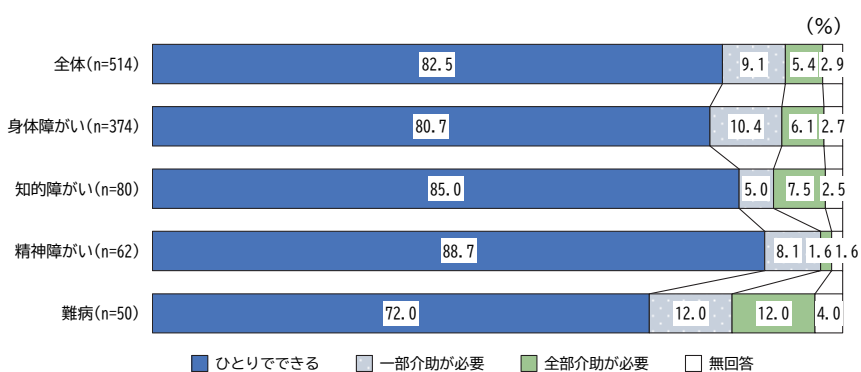
④ 衣服の着脱



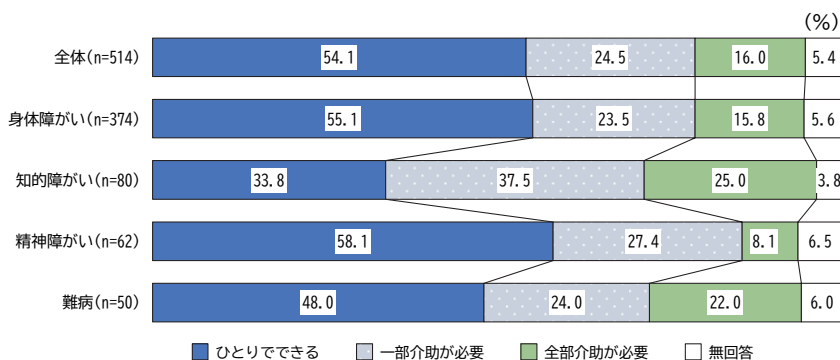
⑤ 身だしなみ



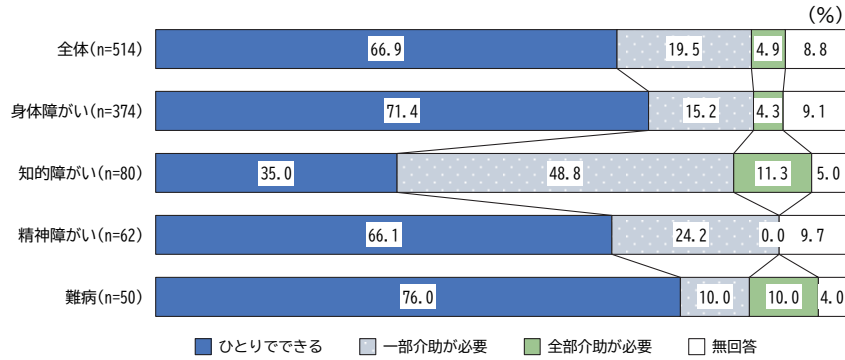
⑥ 家の中の移動



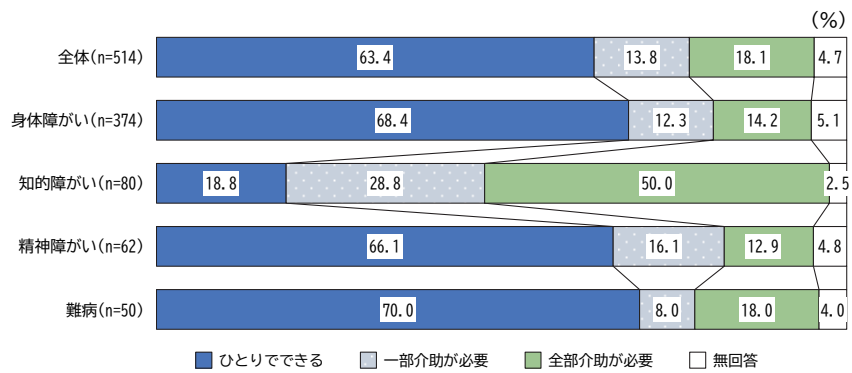
⑦ 外出



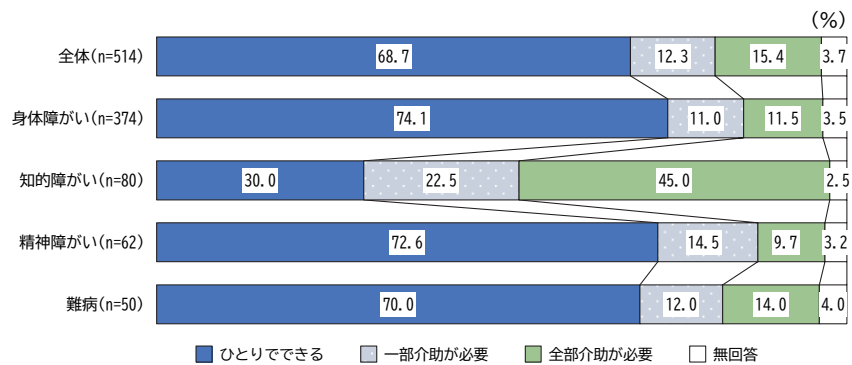
⑧ 家族以外の人との意思疎通



⑨ お金の管理



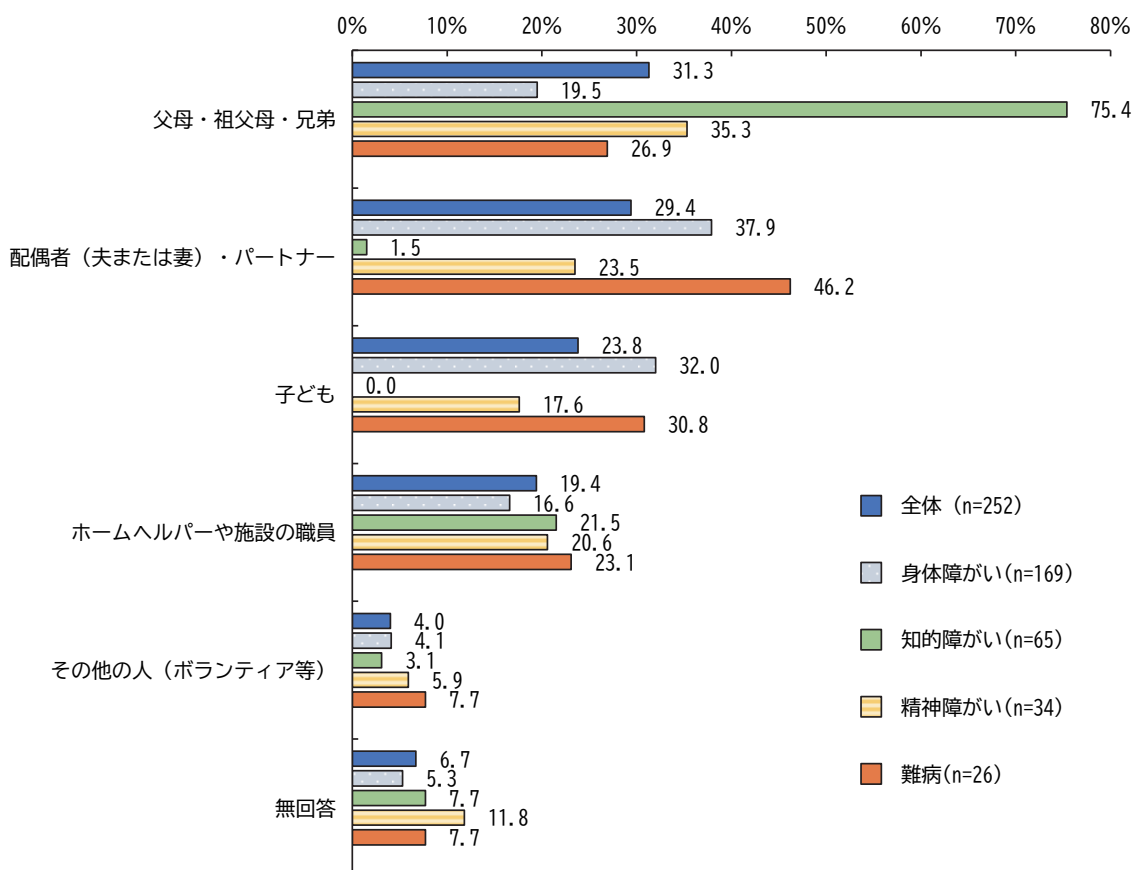
⑩ 薬の管理



(5) 主な介助者

【問4で、1つでも「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と回答された方へ】
 問5 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

○「主な介助者」については、全体と知的、精神障がい者で「父母・祖父母・兄弟」が、身体障がい者および難病患者で「配偶者（夫または妻）・パートナー」がそれぞれ最も多くなっています。



(6) 介助してくれる方の年齢・健康状態

【問5で、「1」～「3」(家族の介助)を含む回答をされた方へ】

問6 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、健康状態をお答えください。

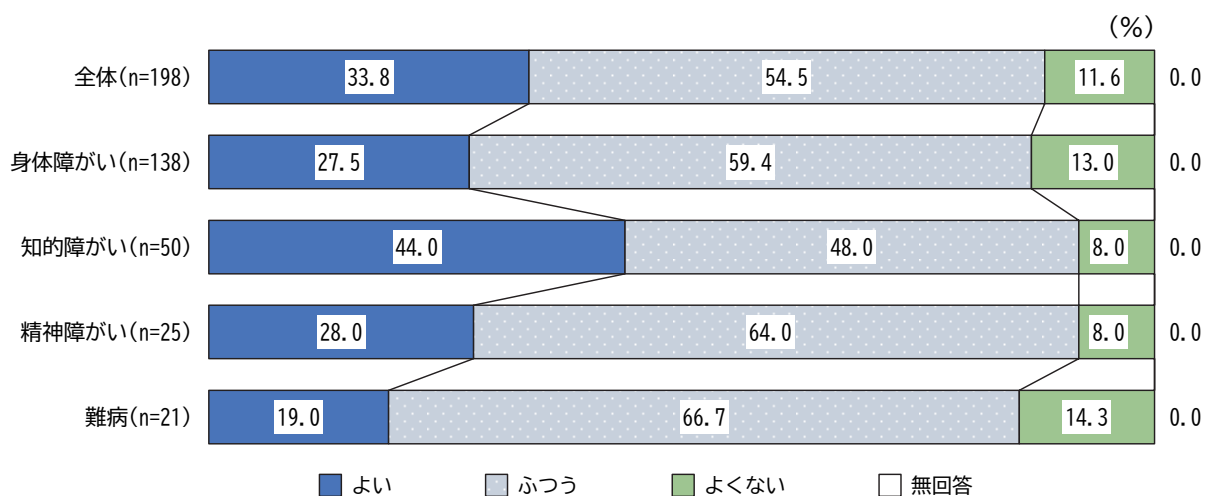
○「主な介助者の年齢」については、全体結果、各種障がいでは「40～64歳」が、難病患者では「65歳～74歳」がそれぞれ最も多くなっています。

「主な介助者の健康」については、全体結果、各障がい・病気共に「ふつう」が最も多くなっていますが、知的障がい者では「よい」が比較的多く40%以上を占めており、特徴的になっています。

【年齢（令和5年7月1日現在）】

上段：件数 下段：％		合計	18歳未満	18歳～39歳	40歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上	無回答
全体		198	0	8	85	56	45	4
		100.0	0.0	4.0	42.9	28.3	22.7	2.0
障がい種別	身体障がい	138	0	3	49	44	39	3
		100.0	0.0	2.2	35.5	31.9	28.3	2.2
	知的障がい	50	0	4	33	9	4	0
		100.0	0.0	8.0	66.0	18.0	8.0	0.0
	精神障がい	25	0	1	12	5	5	2
		100.0	0.0	4.0	48.0	20.0	20.0	8.0
	難病	21	0	2	6	7	5	1
		100.0	0.0	9.5	28.6	33.3	23.8	4.8

【健康状態】

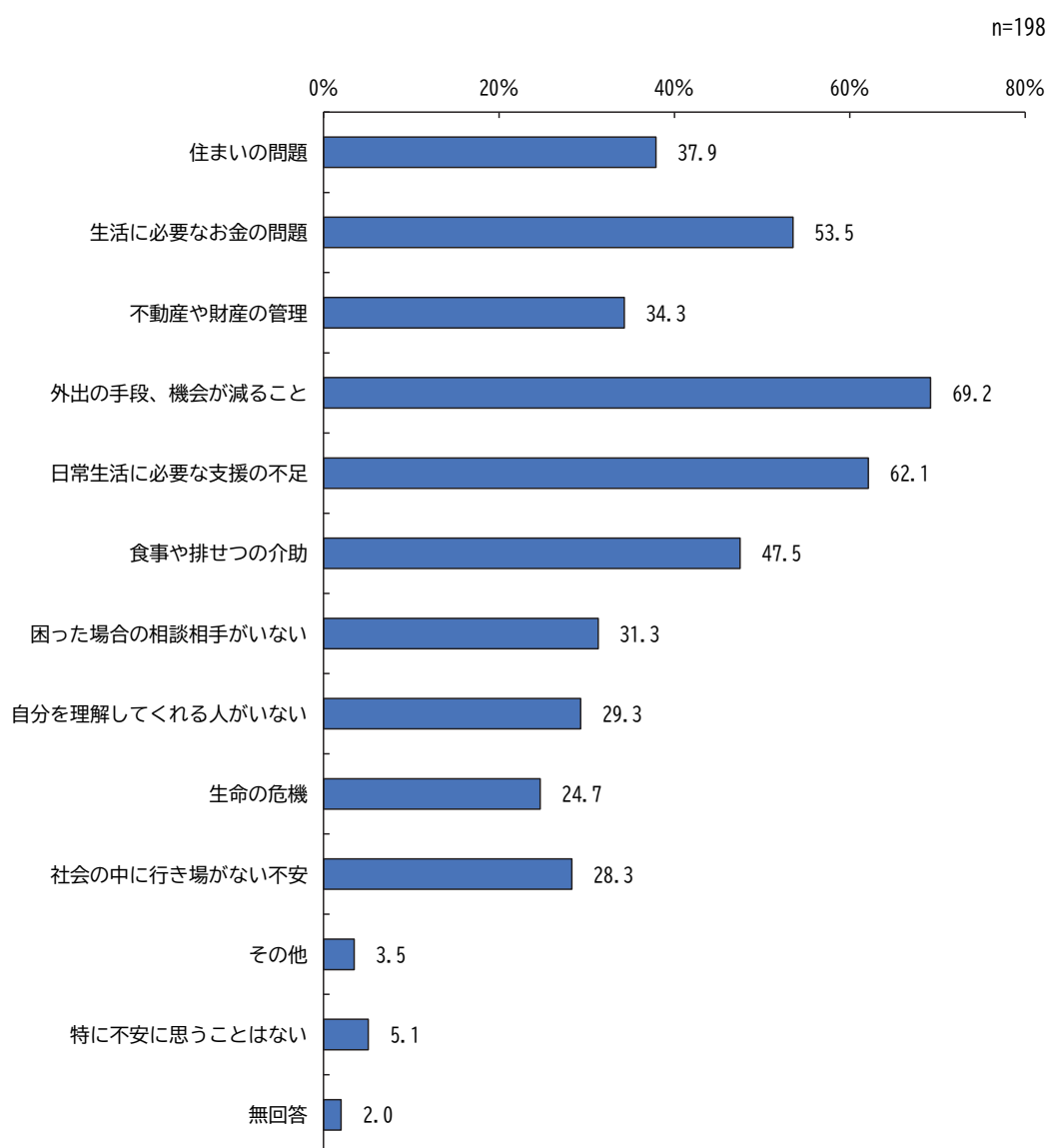


(7) 家族からの介助が難しくなったらと考えたときの不安

問7 もしも介助してくれる家族がいろいろな事情で介助することが難しくなったらと考えたとき不安になることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 「家族からの介助が難しくなったらと考えたときの不安」については、全体と身体、精神障がい者および難病患者では「外出の手段、機会が減ること」が、知的障がい者では「生活に必要なお金の問題」がそれぞれ最も多くなっています。

〈全体〉



〈障がい種別〉

上段：件数 下段：％		合計	住まいの 問題	生活に必要な なお金の 問題	不動産や 財産の管理	外出の 手段、機会 が減ること	日常生活に 必要な支援 の不足	食事や 排せつの 介助	困った場合 の相談相手 がいない
全体		198	75	106	68	137	123	94	62
		100.0	37.9	53.5	34.3	69.2	62.1	47.5	31.3
障がい 種別	身体障がい	138	44	62	43	96	85	66	37
		100.0	31.9	44.9	31.2	69.6	61.6	47.8	26.8
	知的障がい	50	30	42	22	36	35	25	25
		100.0	60.0	84.0	44.0	72.0	70.0	50.0	50.0
	精神障がい	25	8	14	7	16	11	8	5
		100.0	32.0	56.0	28.0	64.0	44.0	32.0	20.0
	難病	21	9	10	6	15	11	6	8
		100.0	42.9	47.6	28.6	71.4	52.4	28.6	38.1

上段：件数 下段：％		合計	自分を理解 してくれる 人がいない	生命の危機	社会の中に 行き場が ない不安	その他	特に不安に 思うことは ない	無回答
全体		198	58	49	56	7	10	4
		100.0	29.3	24.7	28.3	3.5	5.1	2.0
障がい 種別	身体障がい	138	34	33	33	5	9	2
		100.0	24.6	23.9	23.9	3.6	6.5	1.4
	知的障がい	50	20	14	20	1	1	2
		100.0	40.0	28.0	40.0	2.0	2.0	4.0
	精神障がい	25	10	5	9	2	2	1
		100.0	40.0	20.0	36.0	8.0	8.0	4.0
	難病	21	5	8	5	0	1	1
		100.0	23.8	38.1	23.8	0.0	4.8	4.8

2 あなたの障がいの状況について

問8 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

○「身体障害者手帳の所持状況」については、全体と身体障がい者および難病患者では「1級」が、知的、精神障がい者では「持っていない」がそれぞれ最も多くなっています。

上段：件数 下段：%	合計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	持っていない	無回答	
全体	514 100.0	128 24.9	57 11.1	66 12.8	85 16.5	17 3.3	21 4.1	98 19.1	42 8.2	
障がい 種別	身体障がい	374 100.0	128 34.2	57 15.2	66 17.6	85 22.7	17 4.5	21 5.6	0 0.0	
	知的障がい	80 100.0	7 8.8	5 6.3	0 0.0	2 2.5	1 1.3	0 0.0	52 65.0	
	精神障がい	62 100.0	4 6.5	11 17.7	5 8.1	1 1.6	0 0.0	1 1.6	32 51.6	
	難病	50 100.0	16 32.0	12 24.0	7 14.0	4 8.0	1 2.0	1 2.0	7 14.0	2 4.0

【問8で、「1」～「6」(手帳を所持)を回答された方へ】

問9 お持ちの身体障害者手帳の、障害区分をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

○「身体障害者手帳の障害区分」については、全体と身体、精神障がい者および難病患者では「内部障害(「1」～「6」以外)」が、知的障がい者では「内部障害」と「肢体不自由(下肢)」が、それぞれ最も多くなっています。

上段：件数 下段：%	合計	視覚障害	聴覚障害	音声・言語 ・そしゃく 機能障害	肢体不自由 (上肢)	肢体不自由 (下肢)	肢体不自由 (体幹)	内部障害 (「1」 ～「6」 以外)	無回答	
全体	374 100.0	20 5.3	31 8.3	9 2.4	55 14.7	128 34.2	28 7.5	136 36.4	35 9.4	
障がい 種別	身体障がい	374 100.0	20 5.3	31 8.3	9 2.4	55 14.7	128 34.2	28 7.5	136 36.4	
	知的障がい	15 100.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7	3 20.0	5 33.3	3 20.0	5 33.3	
	精神障がい	22 100.0	2 9.1	0 0.0	0 0.0	2 9.1	5 22.7	0 0.0	8 36.4	
	難病	41 100.0	5 12.2	2 4.9	2 4.9	7 17.1	11 26.8	4 9.8	16 39.0	4 9.8

問10 あなたは療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

○「療育手帳の所持状況」については、知的障がい者では「B判定」が、全体と身体、精神障がい者および難病患者では「持っていない」がそれぞれ最も多くなっています。

上段：件数 下段：%		合計	㊤判定	A判定	B判定	C判定	持っていない	無回答
全体		514	16	20	25	19	311	123
		100.0	3.1	3.9	4.9	3.7	60.5	23.9
障がい種別	身体障がい	374	4	7	2	2	264	95
		100.0	1.1	1.9	0.5	0.5	70.6	25.4
	知的障がい	80	16	20	25	19	0	0
		100.0	20.0	25.0	31.3	23.8	0.0	0.0
	精神障がい	62	0	1	1	0	44	16
		100.0	0.0	1.6	1.6	0.0	71.0	25.8
	難病	50	0	1	0	0	35	14
		100.0	0.0	2.0	0.0	0.0	70.0	28.0

問11 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

○「精神障害者保健福祉手帳の所持状況」については、精神障がい者では「2級」が、全体と身体、知的障がい者および難病患者では「持っていない」がそれぞれ最も多くなっています。

上段：件数 下段：%		合計	1級	2級	3級	持っていない	無回答
全体		514	6	38	18	366	86
		100.0	1.2	7.4	3.5	71.2	16.7
障がい種別	身体障がい	374	4	13	5	295	57
		100.0	1.1	3.5	1.3	78.9	15.2
	知的障がい	80	0	2	0	64	14
		100.0	0.0	2.5	0.0	80.0	17.5
	精神障がい	62	6	38	18	0	0
		100.0	9.7	61.3	29.0	0.0	0.0
	難病	50	1	2	0	40	7
		100.0	2.0	4.0	0.0	80.0	14.0

問12 あなたは指定難病の認定を受けていますか。(○は1つだけ) ※「指定難病」とは、関節リウマチやギラン・バレー症候群などの、治療法が確立していない疾病やその他の特殊な疾病をいいます。

- 「指定難病の認定を受けていますか」については、難病患者では「受けている」が、全体と身体、知的、精神障がい者では、「受けていない」がそれぞれ最も多くなっています。

上段：件数 下段：%		合計	受けている	受けていない	無回答
全体		514 100.0	50 9.7	399 77.6	65 12.6
障 が い 種 別	身体障がい	374 100.0	41 11.0	289 77.3	44 11.8
	知的障がい	80 100.0	1 1.3	69 86.3	10 12.5
	精神障がい	62 100.0	3 4.8	54 87.1	5 8.1
	難病	50 100.0	50 100.0	0 0.0	0 0.0

問13 あなたは、高次脳機能障がいとして診断されたことはありますか。(○は1つだけ)
※高次脳機能障がいとは、一般に、外傷性脳損傷、脳血管障害等により脳に損傷を受け、その後遺症等として生じた記憶障がい、注意障がい、社会的行動障がいなどの認知障がい等を指すものとされており、具体的には「会話がうまくかみ合わない」等の症状があります。

- 「高次脳機能障がいとして診断されたことはありますか」については、全体結果、各障がい・病気共に「ない」が最も多くなっています。

上段：件数 下段：%		合計	ある	ない	無回答
全体		514 100.0	19 3.7	440 85.6	55 10.7
障 が い 種 別	身体障がい	374 100.0	16 4.3	320 85.6	38 10.2
	知的障がい	80 100.0	2 2.5	69 86.3	9 11.3
	精神障がい	62 100.0	1 1.6	56 90.3	5 8.1
	難病	50 100.0	3 6.0	44 88.0	3 6.0

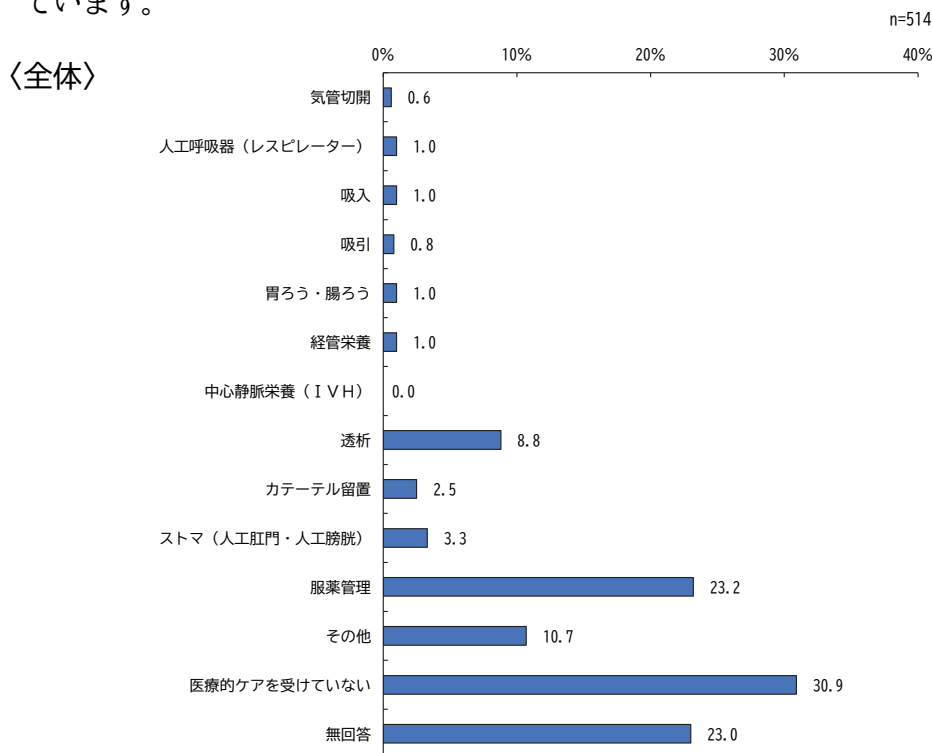
問14 あなたは、発達障がいとして診断されたことはありますか。(○は1つだけ)
 ※発達障がいとは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいなどをいいます。

○「発達障がいとして診断されたことはありますか」については、知的障がい者では「ある」が、全体と身体、精神障がい者および難病患者では「ない」がそれぞれ最も多くなっています。

上段：件数 下段：%		合計	ある	ない	無回答
全体		514 100.0	53 10.3	402 78.2	59 11.5
障 が い 種 別	身体障がい	374 100.0	10 2.7	326 87.2	38 10.2
	知的障がい	80 100.0	39 48.8	29 36.3	12 15.0
	精神障がい	62 100.0	9 14.5	46 74.2	7 11.3
	難病	50 100.0	1 2.0	45 90.0	4 8.0

問15 あなたが現在受けている医療的ケアをご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

○「現在受けている医療的ケア」については、全体と身体、知的障がい者および難病患者では「医療的ケアを受けていない」が、精神障がい者では「服薬管理」が最も多くなっています。



〈障がい種別〉

上段：件数 下段：%	合計	気管切開	人工呼吸器 (レスピ レーター)	吸入	吸引	胃ろう・ 腸ろう	経管栄養	中心静脈 栄養 (IVH)	
全体	198 100.0	3 0.6	5 1.0	5 1.0	4 0.8	5 1.0	5 1.0	0 0.0	
障がい種別	身体障がい	138 100.0	2 0.5	5 1.3	5 1.3	4 1.1	5 1.3	5 1.3	0 0.0
	知的障がい	50 100.0	1 1.3	0 0.0	0 0.0	1 1.3	1 1.3	0 0.0	0 0.0
	精神障がい	25 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	難病	21 100.0	1 2.0	2 4.0	0 0.0	2 4.0	1 2.0	4 8.0	0 0.0

上段：件数 下段：%	合計	透析	カテーテル 留置	ストマ (人 工肛門・人 工膀胱)	服薬管理	その他	医療的ケア を受けて いない	無回答	
全体	198 100.0	45 8.8	13 2.5	17 3.3	119 23.2	55 10.7	159 30.9	118 23.0	
障がい種別	身体障がい	138 100.0	44 11.8	12 3.2	17 4.5	84 22.5	45 12.0	105 28.1	77 20.6
	知的障がい	50 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	25 31.3	2 2.5	41 51.3	12 15.0
	精神障がい	25 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	20 32.3	7 11.3	15 24.2	22 35.5
	難病	21 100.0	4 8.0	2 4.0	1 2.0	12 24.0	8 16.0	13 26.0	10 20.0

3 住まいや暮らしについて

問16 あなたのお住まいは、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

○「住まい」については、全体結果、各障がい・病気共に「自分や家族の持ち家」が最も多くなっています。

次いで多い回答は、全体と身体、精神障がい者および難病患者では「民間アパートや公営住宅等の賃貸住宅」が、知的障がい者では「グループホーム」がそれぞれ多くなっています。

上段：件数 下段：%		合計	自分や家族の持ち家	民間 アパートや 公営住宅等 の賃貸住宅	グループ ホーム	福祉施設 (障害者 支援施設、 高齢者支援 施設)	病院に入院 している	その他	無回答
全体		514 100.0	411 80.0	55 10.7	13 2.5	16 3.1	4 0.8	5 1.0	10 1.9
障 が い 種 別	身体障がい	374 100.0	308 82.4	37 9.9	6 1.6	12 3.2	4 1.1	4 1.1	3 0.8
	知的障がい	80 100.0	63 78.8	6 7.5	7 8.8	3 3.8	1 1.3	0 0.0	0 0.0
	精神障がい	62 100.0	48 77.4	11 17.7	1 1.6	1 1.6	1 1.6	0 0.0	0 0.0
	難病	50 100.0	34 68.0	11 22.0	0 0.0	3 6.0	1 2.0	1 2.0	0 0.0

問17 あなたは、現在のお住まいにこれからも住み続けますか。(○は1つだけ)

○「現在の住まいにこれからも住み続けますか」については、全体結果、各障がい・病気共に「住み続ける」が最も多くなっています。

次いで多い回答は、全体と身体、知的障がい者および難病患者では「わからない」が、精神障がい者では「転居したいが理由がありできない」と「わからない」がそれぞれ多くなっています。

上段：件数 下段：%		合計	住み続ける	転居したい が理由があ りできない	将来、市内 で転居する	将来、市外 へ転出する	わからない	その他	無回答
全体		514 100.0	397 77.2	13 2.5	9 1.8	5 1.0	70 13.6	8 1.6	12 2.3
障 が い 種 別	身体障がい	374 100.0	304 81.3	9 2.4	7 1.9	5 1.3	41 11.0	4 1.1	4 1.1
	知的障がい	80 100.0	54 67.5	1 1.3	1 1.3	1 1.3	22 27.5	1 1.3	0 0.0
	精神障がい	62 100.0	47 75.8	5 8.1	1 1.6	0 0.0	5 8.1	3 4.8	1 1.6
	難病	50 100.0	31 62.0	0 0.0	2 4.0	1 2.0	15 30.0	0 0.0	1 2.0

問18 あなたは将来、地域で生活したいと思いますか。(○は1つだけ)

○「将来、地域で生活したいか」については、全体結果、各障がい・病気共に「家族と一緒に地域で生活したい」が最も多くなっています。

次いで多い回答は、「無回答」を除くと、全体と身体障がい者では「地域の一般の住宅で一人暮らしをしたい」が、知的障がい者では「グループホームなどを利用して地域で生活したい」が、精神障がい者では「特に地域で生活したいと思わない」が、難病患者では「施設などで生活したい」がそれぞれ多くなっています。

上段：件数 下段：%		合計	グループホームなどを利用して地域で生活したい	家族と一緒に地域で生活したい	地域の一般の住宅で一人暮らしをしたい	施設などで生活したい	特に地域で生活したいと思わない	その他	無回答
全体		514 100.0	39 7.6	253 49.2	54 10.5	45 8.8	39 7.6	20 3.9	64 12.5
障がい種別	身体障がい	374 100.0	19 5.1	185 49.5	45 12.0	35 9.4	26 7.0	10 2.7	54 14.4
	知的障がい	80 100.0	20 25.0	36 45.0	2 2.5	7 8.8	5 6.3	4 5.0	6 7.5
	精神障がい	62 100.0	4 6.5	27 43.5	6 9.7	3 4.8	11 17.7	3 4.8	8 12.9
	難病	50 100.0	1 2.0	21 42.0	6 12.0	8 16.0	4 8.0	1 2.0	9 18.0

問19 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

○「地域で生活するためにはあればよいと思う支援」については、全体結果、各障がい・病気共に「経済的な負担の軽減」が最も多くなっています。

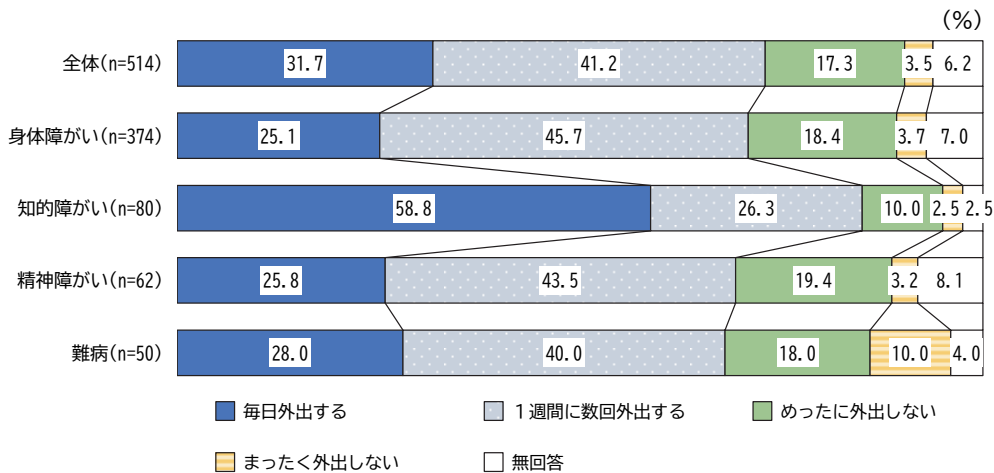
次いで多い回答は、全体では「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が、身体障がい者、難病患者では「在宅で医療的ケアなどが適切に受けられること」が、知的、精神障がい者では「相談対応等の充実」がそれぞれ多くなっています。

上段：件数 下段：%		合計	在宅で医療的ケアなどが適切に受けられること	障がいに適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	近隣住民等の理解	その他	無回答
全体		514 100.0	196 38.1	127 24.7	203 39.5	54 10.5	240 46.7	133 25.9	112 21.8	22 4.3	83 16.1
障がい種別	身体障がい	374 100.0	157 42.0	86 23.0	147 39.3	30 8.0	165 44.1	71 19.0	62 16.6	12 3.2	61 16.3
	知的障がい	80 100.0	18 22.5	28 35.0	39 48.8	20 25.0	46 57.5	40 50.0	33 41.3	7 8.8	11 13.8
	精神障がい	62 100.0	18 29.0	15 24.2	16 25.8	9 14.5	33 53.2	24 38.7	14 22.6	4 6.5	11 17.7
	難病	50 100.0	24 48.0	16 32.0	23 46.0	6 12.0	25 50.0	16 32.0	9 18.0	1 2.0	5 10.0

4 日中活動や就労について

問20 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つだけ)

○「1週間の外出頻度」については、全体と身体、精神障がい者および難病患者では「1週間に数回外出する」が、知的障がい者では「毎日外出する」がそれぞれ最も多くなっています。



【問21～問24は、問20で、「4(まったく外出しない)」以外を回答された場合にお答えください。】

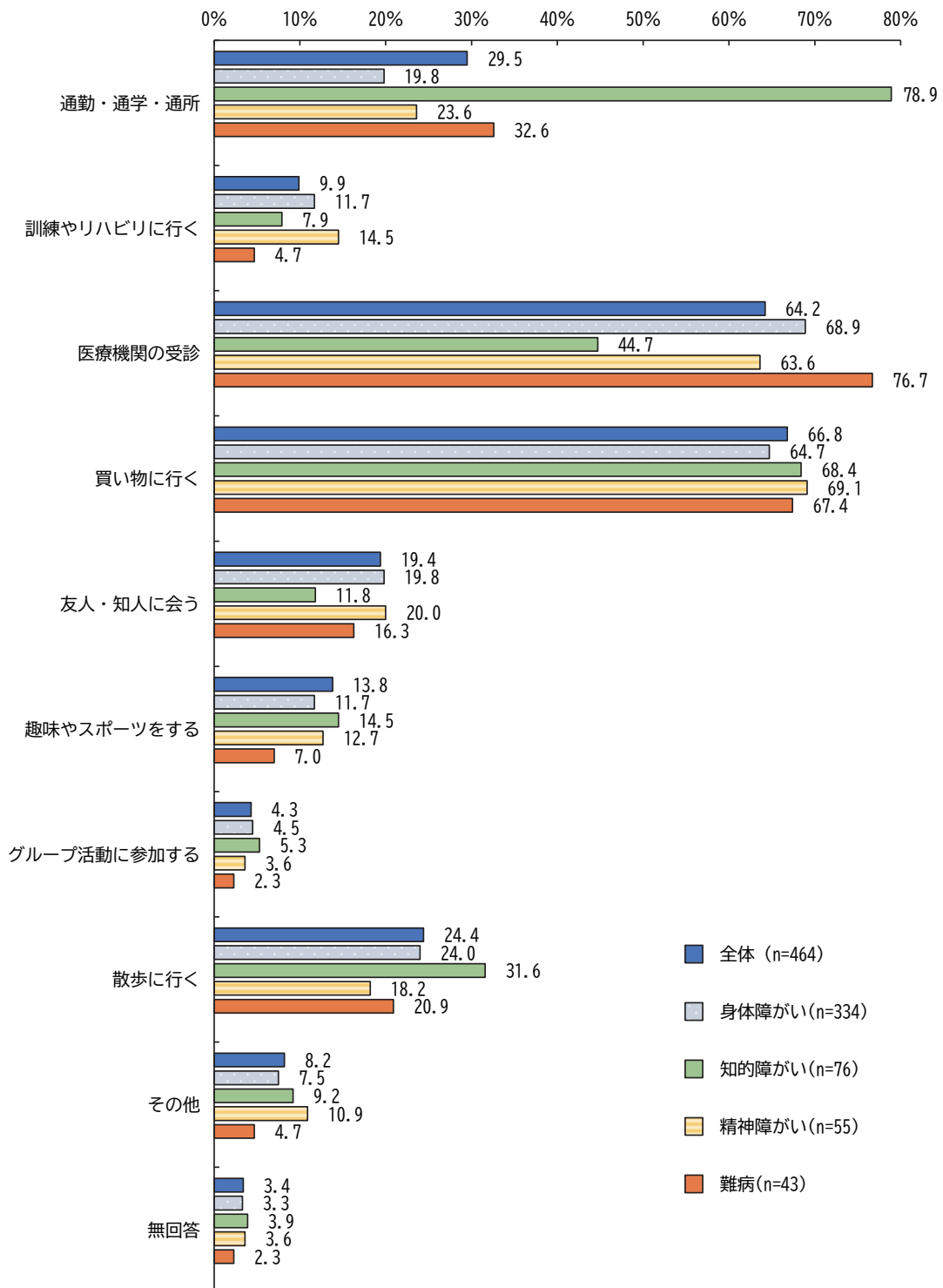
問21 外出する際の主な同伴者は誰ですか。(○は1つだけ)

○「外出する際の主な同伴者」については、全体と身体、精神障がい者および難病患者では「ひとりで外出する」が、知的障がい者では「父母・祖父母・兄弟姉妹」がそれぞれ最も多くなっています。

上段：件数 下段：%	合計	父母・ 祖父母・ 兄弟姉妹	配偶者 (夫または 妻)・ パートナー	子ども	ホームヘル パーや施設 の職員	その他の人	ひとりで 外出する	無回答	
全体	464	61	97	44	28	16	155	63	
	100.0	13.1	20.9	9.5	6.0	3.4	33.4	13.6	
障 が い 種 別	身体障がい	334	24	85	36	21	15	106	47
		100.0	7.2	25.4	10.8	6.3	4.5	31.7	14.1
	知的障がい	76	39	1	0	8	0	20	8
		100.0	51.3	1.3	0.0	10.5	0.0	26.3	10.5
	精神障がい	55	11	12	2	0	2	21	7
	100.0	20.0	21.8	3.6	0.0	3.6	38.2	12.7	
難病	43	5	9	6	3	1	13	6	
	100.0	11.6	20.9	14.0	7.0	2.3	30.2	14.0	

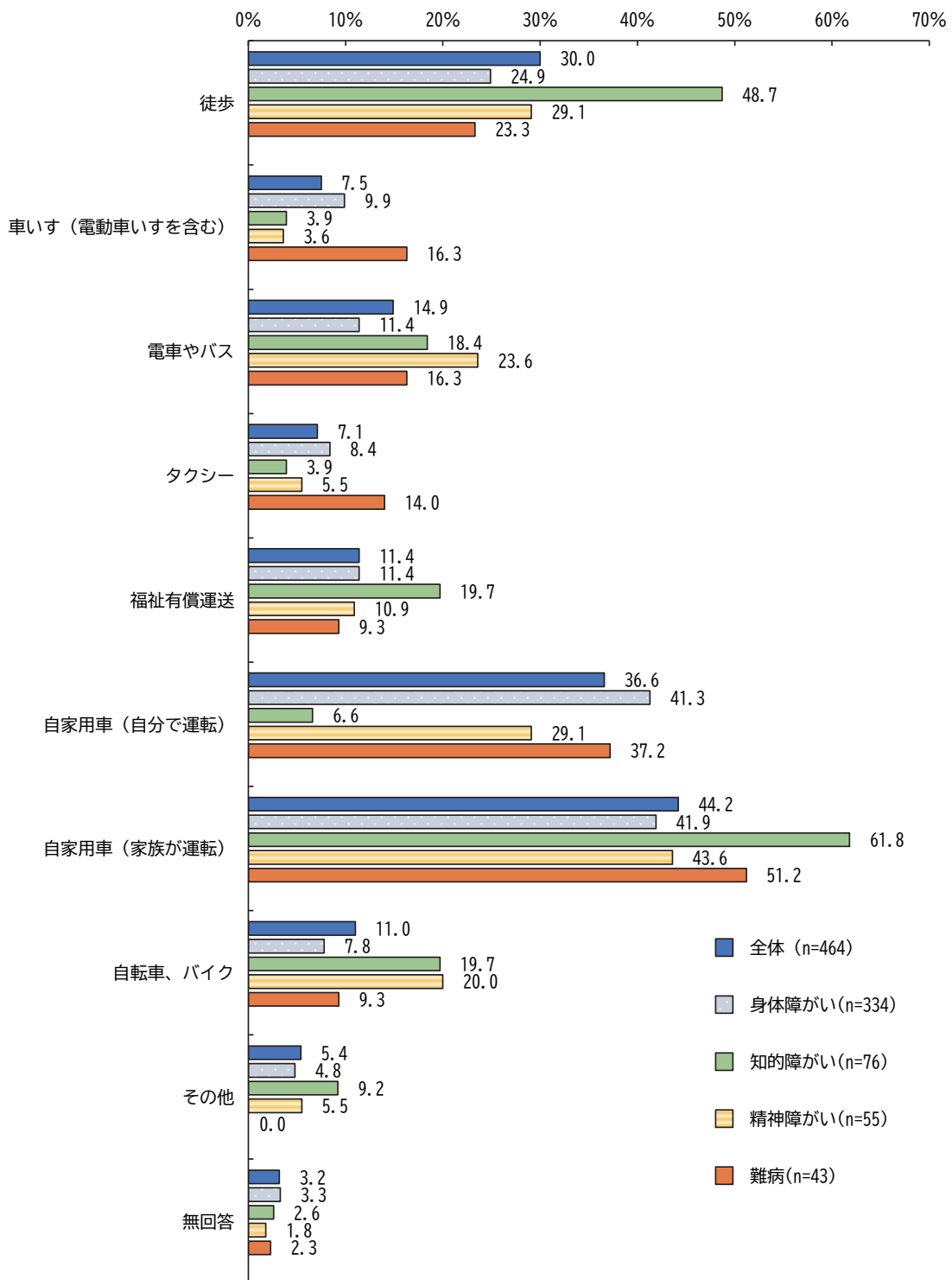
問22 どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

○「どのような目的で外出することが多いですか」については、全体と精神障がい者では「買い物に行く」が、身体障がい者と難病患者では「医療機関の受診」が、知的障がい者では「通勤・通学・通所」がそれぞれ最も多くなっています。



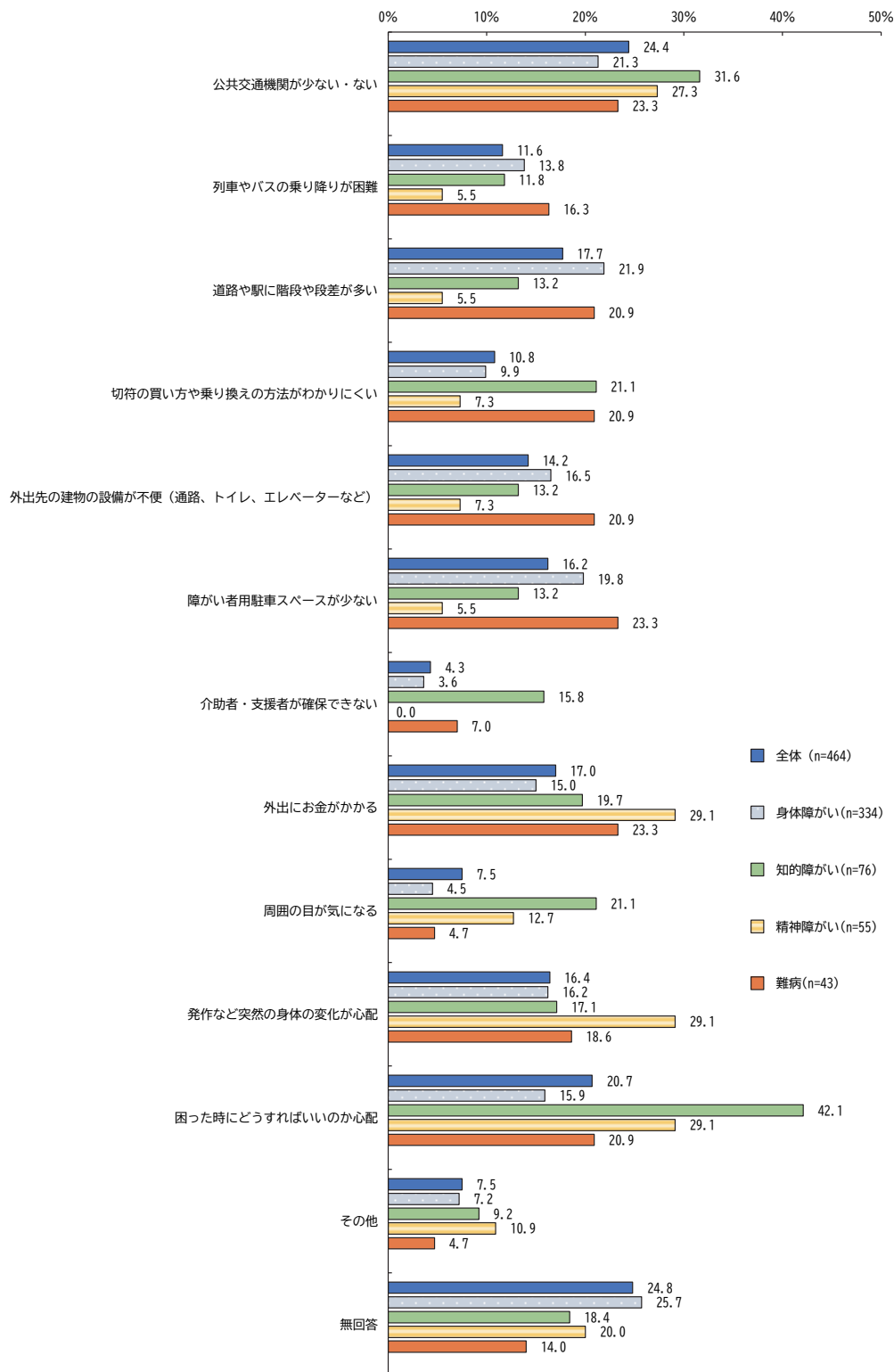
問23 外出する際の交通手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

○「外出する際の交通手段」については、全体結果、各障がい・病気共に「自家用車（家族が運転）」が最も多くなっています。
 次いで多い回答は、全体と身体、精神障がい者および難病患者では「自家用車（自分で運転）」が、知的と精神障がい者では「徒歩」がそれぞれ多くなっています。



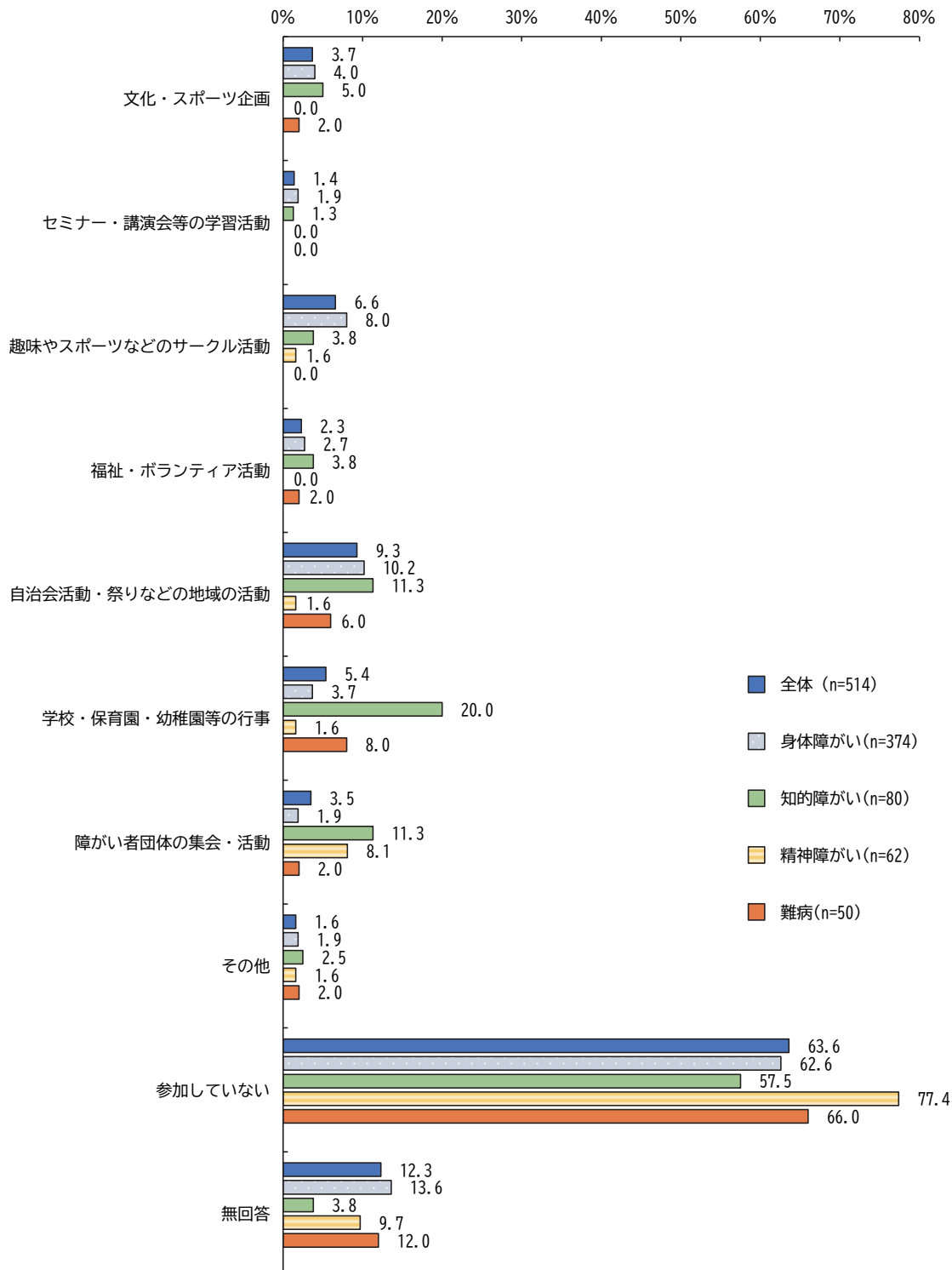
問24 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

○「外出時の困りごと」については、「無回答」を除くと、全体では「公共交通機関が少ない・ない」が、身体障がい者では「道路や駅に階段や段差が多い」が、知的障がい者では「困った時にどうすればいいのか心配」が、精神障がい者では「外出にお金がかかる」と「発作など突然の身体の変化が心配」、「困った時にどうすればいいのか心配」が、難病患者では「公共交通機関が少ない・ない」と「障がい者用駐車スペースが少ない」、「外出にお金がかかる」がそれぞれ最も多くなっています。



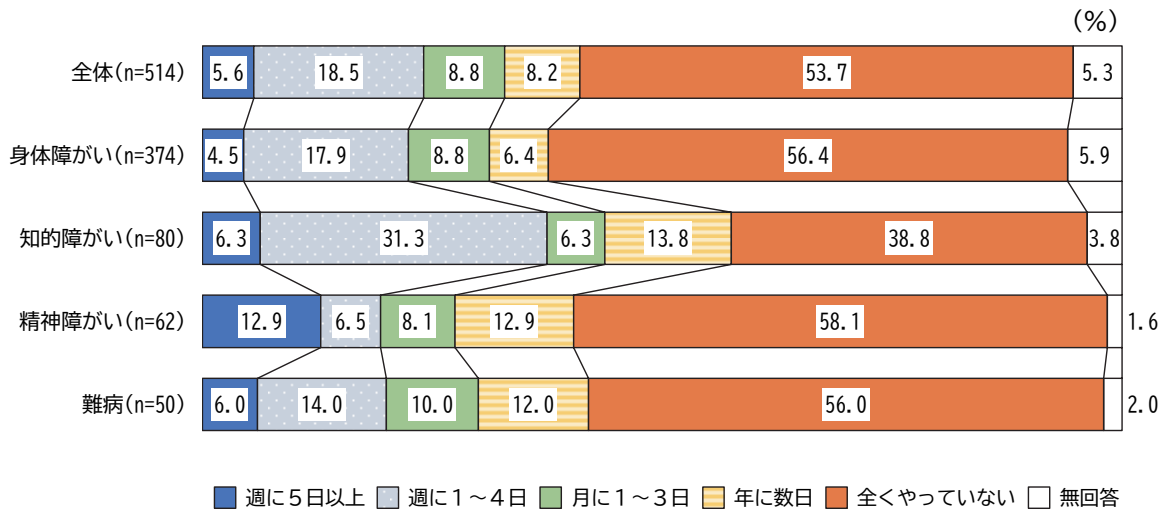
問25 あなたが地域の行事や活動で参加しているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

○「地域の行事や活動で参加しているもの」については、全体結果、各障がい・病気共に「参加していない」が最も多くなっています。
 次の多い回答は、「無回答」を除くと、全体と身体障がい者では「自治会活動・祭りなどの地域の活動」が、知的障がい者と難病患者では「学校・保育園・幼稚園等の行事」が、精神障がい者では「障がい者団体の集会・活動」がそれぞれ多くなっています。



問26 あなたは、この1年間でどれくらいスポーツや運動をしましたか。(○は1つだけ)

○「1年間でどれくらいスポーツや運動をしましたか」については、全体結果、各障がい・病気共に「全くやっていない」が最も多くなっています。
次いで多い回答は、全体と身体、知的障がい者および難病患者では「週に1～4日」が、精神障がい者では「週に5日以上」と「年に数日」がそれぞれ多くなっています。



問27 あなたがスポーツや運動をするとき、困ること、行いにくいと感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

○「スポーツや運動をするとき、困ること、行いにくいと感じること」については、全体と身体、精神障がい者および難病患者では「障がいや体調について不安がある」が、知的障がい者では「一緒にスポーツや運動をする仲間がいない」がそれぞれ最も多くなっています。

障がい種別	上段：件数 下段：%	合計	障がいや体調について不安がある	スポーツや運動に興味がない	運動場所への移動が難しい	スポーツ施設の受け入れ態勢が不十分(バリアフリーではない、介助者がいない、教えてくれる人がいないなど)	障がいに適したスポーツや運動がない	スポーツや運動に関する情報が少ない	一緒にスポーツや運動をする仲間がいない	その他	特にない	無回答
障がい種別	全体	514 100.0	142 27.6	66 12.8	48 9.3	32 6.2	60 11.7	30 5.8	77 15.0	37 7.2	120 23.3	108 21.0
	身体障がい	374 100.0	110 29.4	39 10.4	29 7.8	20 5.3	49 13.1	24 6.4	46 12.3	22 5.9	89 23.8	86 23.0
	知的障がい	80 100.0	12 15.0	16 20.0	16 20.0	13 16.3	14 17.5	4 5.0	22 27.5	6 7.5	15 18.8	14 17.5
	精神障がい	62 100.0	23 37.1	16 25.8	4 6.5	4 6.5	9 14.5	7 11.3	15 24.2	9 14.5	12 19.4	7 11.3
	難病	50 100.0	27 54.0	4 8.0	3 6.0	3 6.0	9 18.0	4 8.0	7 14.0	4 8.0	6 12.0	8 16.0

問28 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

○「平日の日中の主な過ごし方」については、全体と身体、精神障がい者および難病患者では「自宅で過ごしている」が、知的障がい者では「福祉施設、事業所等に通っている」がそれぞれ最も多くなっています。

上段：件数 下段：%	合計	会社勤めや 自営業、 家業などで 収入を得る 仕事をして いる	ボランティ アなど、収入 を得ない 仕事をして いる	専業主婦 (主夫)を している	福祉施設、 事業所等に 通っている	病院などの デイケアに 通っている	リハビリ テーション を受けて いる	自宅で過 している	
全体	514 100.0	87 16.9	4 0.8	41 8.0	46 8.9	17 3.3	12 2.3	198 38.5	
障 が い 種 別	身体障がい	374 100.0	62 16.6	3 0.8	34 9.1	14 3.7	14 3.7	11 2.9	162 43.3
	知的障がい	80 100.0	14 17.5	0 0.0	0 0.0	29 36.3	0 0.0	0 0.0	10 12.5
	精神障がい	62 100.0	5 8.1	2 3.2	6 9.7	6 9.7	4 6.5	0 0.0	31 50.0
	難病	50 100.0	12 24.0	0 0.0	3 6.0	1 2.0	3 6.0	1 2.0	17 34.0

上段：件数 下段：%	合計	入所して いる施設や病 院等で過 している	その他	大学、専門 学校、職業 訓練校など に通って いる	特別支援学 校(小、 中、高等 部)に通っ ている	一般の小中 学校、高校 に通って いる	幼稚園、 保育所等に 通っている	無回答	
全体	514 100.0	25 4.9	13 2.5	0 0.0	11 2.1	9 1.8	1 0.2	50 9.7	
障 が い 種 別	身体障がい	374 100.0	21 5.6	10 2.7	0 0.0	4 1.1	2 0.5	0 0.0	37 9.9
	知的障がい	80 100.0	3 3.8	0 0.0	0 0.0	11 13.8	7 8.8	1 1.3	5 6.3
	精神障がい	62 100.0	2 3.2	2 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 6.5
	難病	50 100.0	7 14.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0	5 10.0

【問28で、「1（収入を得る仕事をしている）」を回答された場合にお答えください。】

問29 どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)

○「勤務形態」については、全体結果、各障がいでは「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員として勤務している」が、難病患者では「正職員として勤務しており、他の職員と勤務条件等に違いはない」がそれぞれ最も多くなっています。

上段：件数 下段：%	合計	正職員として 勤務して おり、他の 職員と勤務 条件等に 違いはない	正職員として 勤務して おり、短時 間勤務など の障がい者 配慮がある	パート・ア ルバイト等 の非常勤職 員、派遣職 員として勤 務している	自営業、 農林水産業 などに従事 している	その他	無回答	
全体	87 100.0	28 32.2	5 5.7	37 42.5	11 12.6	4 4.6	2 2.3	
障 が い 種 別	身体障がい	62 100.0	19 30.6	5 8.1	23 37.1	10 16.1	3 4.8	2 3.2
	知的障がい	14 100.0	3 21.4	1 7.1	9 64.3	1 7.1	0 0.0	0 0.0
	精神障がい	5 100.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0
	難病	12 100.0	7 58.3	0 0.0	4 33.3	0 0.0	1 8.3	0 0.0

【問28で、「2」から「9」（収入を得ていない活動）を回答された方がお答えください。】
 問30 あなたは、今後収入を得る仕事をしたいと思いますか。（○は1つだけ）

- 「今後収入を得る仕事がしたいと思いますか」については、全体結果、各障がい・病気共に「仕事をしたくない、またはできない」が最も多くなっていますが、精神障がい者では「仕事をしたい」が比較的多く40%以上を占めており、特徴的になっています。

上段：件数 下段：%		合計	仕事を したい	仕事をした くない、 または できない	無回答
全体		356	76	241	39
		100.0	21.3	67.7	11.0
障 が い 種 別	身体障がい	269	41	195	33
		100.0	15.2	72.5	12.3
	知的障がい	42	15	26	1
		100.0	35.7	61.9	2.4
精神障がい		53	23	25	5
		100.0	43.4	47.2	9.4
難病		32	6	22	4
		100.0	18.8	68.8	12.5

【問28で、「2」から「9」（収入を得ていない活動）を回答された方がお答えください。】
 問31 収入を得るために、職業訓練などを受けたいと思いますか。（○は1つだけ）

- 「職業訓練などを受けたいか」については、全体結果、各障がい・病気共に「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が最も多くなっています。
 次いで多い回答は、「無回答」を除くと、全体と身体、知的障がい者では「職業訓練を受けたい」が、精神障がい者では「すでに職業訓練を受けている」が、難病患者では「すでに職業訓練を受けている」と「職業訓練を受けたい」がそれぞれ多くなっています。

上段：件数 下段：%		合計	すでに 職業訓練を 受けている	職業訓練を 受けたい	職業訓練を 受けたくない、受ける 必要はない	無回答
全体		356	18	25	208	105
		100.0	5.1	7.0	58.4	29.5
障 が い 種 別	身体障がい	269	5	9	166	89
		100.0	1.9	3.3	61.7	33.1
	知的障がい	42	4	10	21	7
		100.0	9.5	23.8	50.0	16.7
精神障がい		53	10	8	23	12
		100.0	18.9	15.1	43.4	22.6
難病		32	1	1	18	12
		100.0	3.1	3.1	56.3	37.5

【問28で、「1」から「9」（保育所等への通園、各種学校等への通学を除く活動）を回答された方がお答えください。】

問32 あなたは、障がいのある人の就労支援としてどのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- 「就労するために必要と思う支援」については、全体と身体障がい者および難病患者では「障がい者全般についての職場の理解」が、知的障がい者では「自分の障がいについての上司や同僚の理解」が、精神障がい者では「障がい者全般についての職場の理解」と「自分の障がいについての上司や同僚の理解」がそれぞれ最も多くなっています。

上段：件数 下段：%	合計	通勤手段の確保	勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	短時間勤務や勤務日数等の配慮	在宅勤務の拡充	障がい者全般についての職場の理解	自分の障がいについての上司や同僚の理解	職場で介助や援助等が受けられること	就労後のフォローなど、職場と支援機関の連携	企業ニーズに合った就労訓練	仕事についての職場外での相談対応、支援	その他	無回答	
全体	443 100.0	126 28.4	84 19.0	123 27.8	73 16.5	172 38.8	154 34.8	74 16.7	76 17.2	49 11.1	71 16.0	33 7.4	170 38.4	
障がい種別	身体障がい	331 100.0	76 23.0	62 18.7	77 23.3	47 14.2	110 33.2	91 27.5	41 12.4	38 11.5	28 8.5	39 11.8	22 6.6	147 44.4
	知的障がい	56 100.0	30 53.6	12 21.4	20 35.7	7 12.5	34 60.7	35 62.5	23 41.1	20 35.7	11 19.6	16 28.6	2 3.6	9 16.1
	精神障がい	58 100.0	23 39.7	7 12.1	23 39.7	16 27.6	28 48.3	28 48.3	8 13.8	17 29.3	8 13.8	19 32.8	6 10.3	16 27.6
	難病	44 100.0	11 25.0	10 22.7	10 22.7	8 18.2	21 47.7	18 40.9	7 15.9	3 6.8	5 11.4	6 13.6	5 11.4	16 36.4

【問28で、「10」から「13」（保育所等への通園、各種学校等への通学）を回答された方がお答えください。】

問33 通園・通学する上で困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- 「通園・通学する上で困っていること」については、全体と知的障がい者では「特に不安に思うことはない」が、難病患者では「生徒や職員の理解が不十分」が、身体障がい者では「通うのが大変」と「相談先がない」、「特に不安に思うことはない」がそれぞれ最も多くなっています。

上段：件数 下段：%	合計	通うのが大変	授業のサポートが不十分	段差やトイレなどの設備が不十分	園内や校内での介助が不十分	生徒や職員の理解が不十分	受け入れてくれる学校の数が少ない	普通学級に入れない
全体	21 100.0	4 19.0	4 19.0	1 4.8	0 0.0	3 14.3	3 14.3	2 9.5
障がい種別	身体障がい	6 100.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 0.0
	知的障がい	19 100.0	4 21.1	3 15.8	1 5.3	0 0.0	2 10.5	3 15.8
	精神障がい	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	難病	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

上段：件数 下段：%	合計	教育や療育に関する情報が少ない	家族への支援が少ない	相談先がない	その他	特に不安に思うことはない	無回答	
全体	21 100.0	6 28.6	3 14.3	3 14.3	1 4.8	9 42.9	0 0.0	
障がい種別	身体障がい	6 100.0	1 16.7	1 16.7	2 33.3	0 0.0	2 33.3	0 0.0
	知的障がい	19 100.0	6 31.6	3 15.8	2 10.5	1 5.3	9 47.4	0 0.0
	精神障がい	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	難病	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問34 放課後や休みの日に、どのようなサービスを利用していますか。また、今後利用を希望するサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【現在の過ごし方】

○「現在の過ごし方」については、全体と身体障がい者では「自宅で家族と過ごす」が、知的障がい者では「放課後等デイサービス」と「自宅で家族と過ごす」が、難病患者では「塾や習い事」と「自宅で家族と過ごす」がそれぞれ最も多くなっています。

上段：件数 下段：%	合計	放課後等 デイサービス	日中 一時支援	移動支援	短期入所	生活 サポート	学童クラブ	障がい者 団体の活動	塾や習い事	サークル 活動や クラブ活動	自宅で家族 と過ごす	その他	無回答
全体	21 100.0	10 47.6	2 9.5	0 0.0	0 0.0	1 4.8	1 4.8	0 0.0	2 9.5	1 4.8	12 57.1	1 4.8	1 4.8
障がい 種別	身体障がい	6 100.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	4 66.7	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	19 100.0	10 52.6	2 10.5	0 0.0	0 0.0	1 5.3	1 5.3	0 0.0	1 5.3	10 52.6	1 5.3	1 5.3
	精神障がい	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	難病	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

【今後利用を希望するもの】

○「今後利用を希望するもの」については、全体と身体、知的障がい者では「自宅で家族と過ごす」が、難病患者では「塾や習い事」と「自宅で家族と過ごす」がそれぞれ最も多くなっています。

上段：件数 下段：%	合計	放課後等 デイサービス	日中 一時支援	移動支援	短期入所	生活 サポート	学童クラブ	障がい者 団体の活動	塾や習い事	サークル 活動や クラブ活動	自宅で家族 と過ごす	その他	無回答
全体	21 100.0	6 28.6	4 19.0	1 4.8	5 23.8	2 9.5	1 4.8	1 4.8	4 19.0	2 9.5	9 42.9	1 4.8	4 19.0
障がい 種別	身体障がい	6 100.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	4 66.7	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	19 100.0	6 31.6	4 21.1	1 5.3	5 26.3	2 10.5	1 5.3	3 15.8	2 10.5	7 36.8	1 5.3	4 21.1
	精神障がい	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	難病	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

問35 卒園・卒業後の進路はどのように考えていますか。(○は1つだけ)【直近の進路についてご回答ください。】

○「卒園・卒業後の進路」については、全体と知的障がい者では「小学校・中学校（特別支援学級）に進学したい」が、身体障がい者では「就労継続支援（A型・B型）・就労移行支援を利用したい」と「その他」が、難病患者では「高等学校に進学したい」がそれぞれ多くなっています。

上段：件数 下段：%	合計	小学校・中学校 (特別支援学級)に 進学したい	小学校・中学校 (普通学級)に 進学したい	高等学校に 進学したい	大学、 短期大学に 進学したい	特別支援 学校に 進学したい	専門学校 などに 進学したい	就労継続支 援（A型・ B型）・ 就労移行 支援を利用 したい	企業などで 社員として 働きたい	わからない	その他	無回答
全体	21	5	0	3	1	3	0	4	0	2	2	1
	100.0	23.8	0.0	14.3	4.8	14.3	0.0	19.0	0.0	9.5	9.5	4.8
障 が い 種 別	身体障がい	6	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0
		100.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	知的障がい	19	5	0	2	0	3	0	4	0	2	1
		100.0	26.3	0.0	10.5	0.0	15.8	0.0	21.1	0.0	10.5	5.3
	精神障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
難病	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

5 障害福祉サービス等の利用について

問36 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

○「障害支援区分」については、全体結果、各障がい・病気共に「受けていない」が最も多くなっています。

次いで多い回答は、「無回答」を除くと、全体と身体、知的障がい者および難病患者では「区分2」が、精神障がい者では「区分3」がそれぞれ多くなっています。

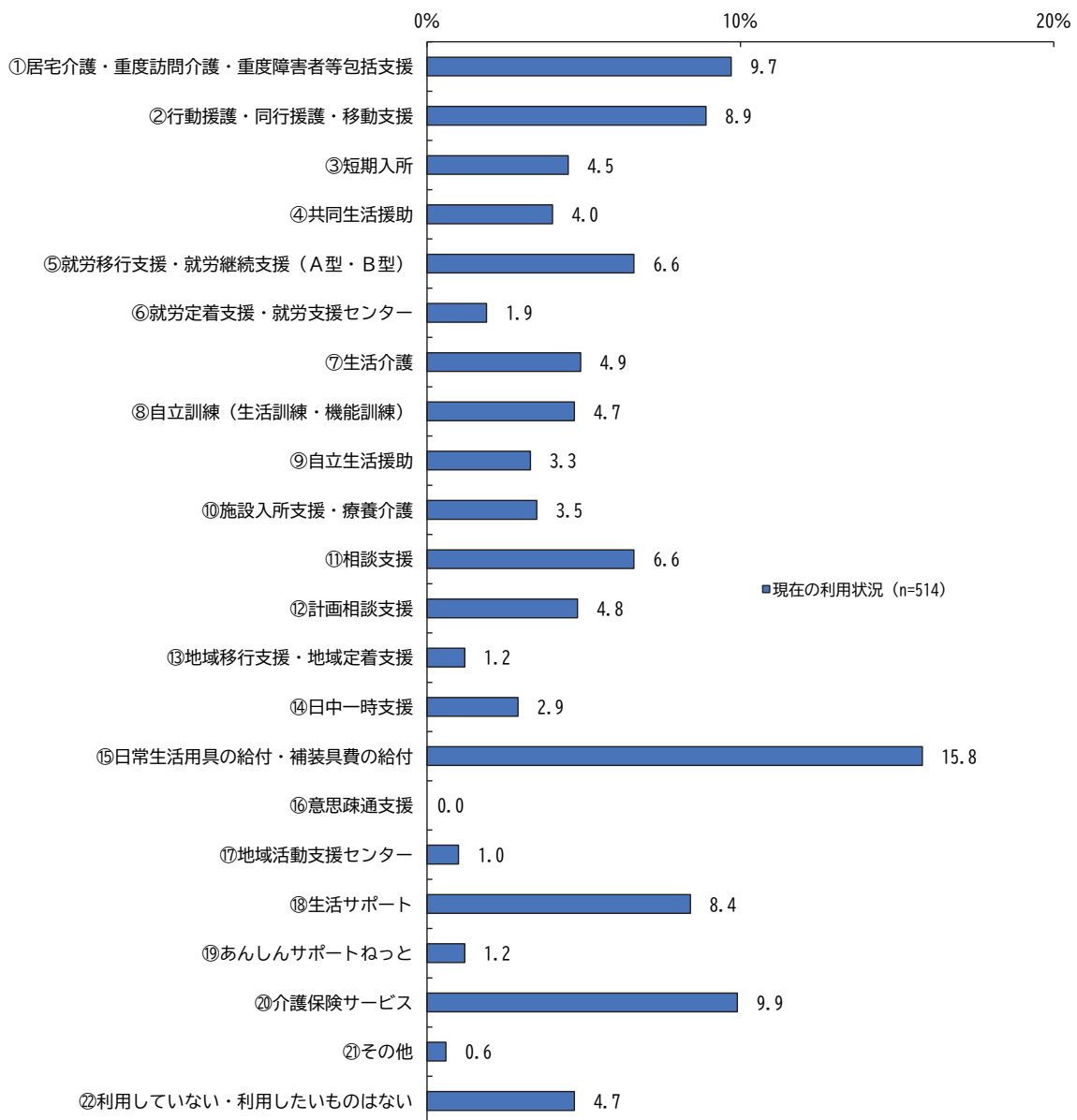
上段：件数 下段：%		合計	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	受けていない	無回答
全体		514 100.0	8 1.6	21 4.1	10 1.9	12 2.3	4 0.8	6 1.2	285 55.4	168 32.7
障 が い 種 別	身体障がい	374 100.0	7 1.9	9 2.4	4 1.1	5 1.3	1 0.3	4 1.1	221 59.1	123 32.9
	知的障がい	80 100.0	2 2.5	11 13.8	3 3.8	7 8.8	2 2.5	3 3.8	30 37.5	22 27.5
	精神障がい	62 100.0	0 0.0	3 4.8	4 6.5	0 0.0	1 1.6	0 0.0	36 58.1	18 29.0
	難病	50 100.0	0 0.0	3 6.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0	28 56.0	18 36.0

問37 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。下の表の①～⑳のサービスについて、(1) 利用している・したことがあるもの、(2) これから利用してみたいものがあれば、あてはまる番号に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

【サービスの現在の利用状況】

○「現在の利用状況」については、「日常生活用具の給付・補装具費の給付」(15.8%)、「介護保険サービス」(9.9%)、「居宅介護・重度訪問介護・重度障害者等包括支援」(9.7%)等となっています。

それらのサービスの利用状況を障がい種別でみた結果は、次ページの各表の通りです。



《日常生活用具の給付・補装具費の給付》

上段：件数 下段：%		合計	利用して いる・した ことがある	これから 利用して みたい	無回答
全体		514	81	69	370
		100.0	15.8	13.4	72.0
障 が い 種 別	身体障がい	374	74	54	251
		100.0	19.8	14.4	67.1
	知的障がい	80	8	8	65
		100.0	10.0	10.0	81.3
	精神障がい	62	3	7	52
		100.0	4.8	11.3	83.9
	難病	50	9	9	32
		100.0	18.0	18.0	64.0

《介護保険サービス》

上段：件数 下段：%		合計	利用して いる・した ことがある	これから 利用して みたい	無回答
全体		514	51	58	406
		100.0	9.9	11.3	79.0
障 が い 種 別	身体障がい	374	41	44	290
		100.0	11.0	11.8	77.5
	知的障がい	80	4	10	66
		100.0	5.0	12.5	82.5
	精神障がい	62	5	5	52
		100.0	8.1	8.1	83.9
	難病	50	9	4	37
		100.0	18.0	8.0	74.0

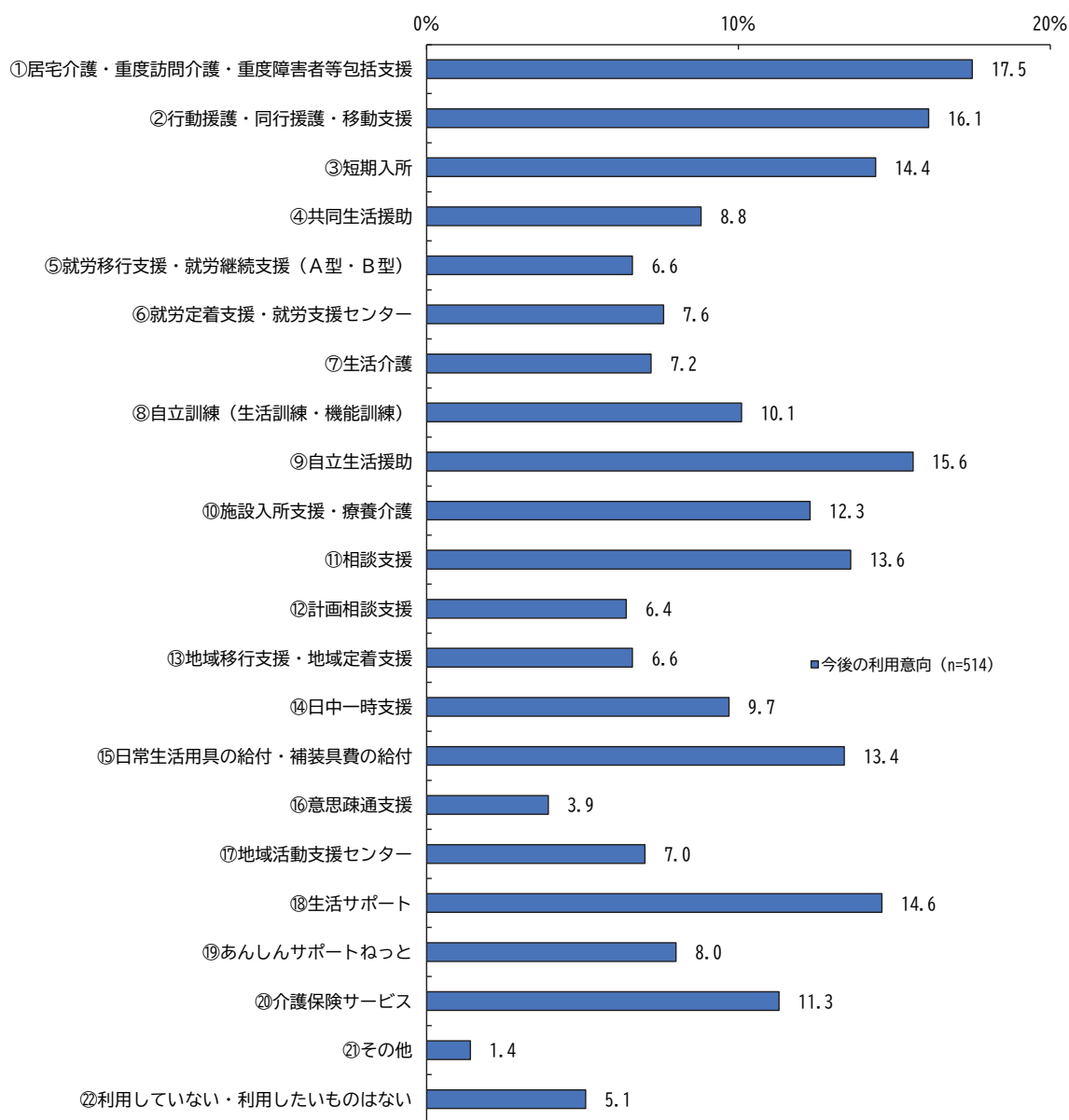
《居宅介護・重度訪問介護・重度障害者等包括支援》

上段：件数 下段：%		合計	利用して いる・した ことがある	これから 利用して みたい	無回答
全体		514	50	90	375
		100.0	9.7	17.5	73.0
障 が い 種 別	身体障がい	374	38	69	268
		100.0	10.2	18.4	71.7
	知的障がい	80	8	13	59
		100.0	10.0	16.3	73.8
	精神障がい	62	9	11	42
		100.0	14.5	17.7	67.7
	難病	50	4	7	39
		100.0	8.0	14.0	78.0

【サービスの今後の利用意向】

○「今後の利用意向」については、「居宅介護・重度訪問介護・重度障害者等包括支援」(17.5%)、「行動援護・同行援護・移動支援」(16.1%)、「自立生活援助」(15.6%)等となっています。

それらのサービスの利用意向を障がい種別でみた結果は、次ページの各表の通りです。



《居宅介護・重度訪問介護・重度障害者等包括支援》

上段：件数 下段：%		合計	利用して いる・した ことがある	これから 利用して みたい	無回答
全体		514	50	90	375
		100.0	9.7	17.5	73.0
障 が い 種 別	身体障がい	374	38	69	268
		100.0	10.2	18.4	71.7
	知的障がい	80	8	13	59
		100.0	10.0	16.3	73.8
	精神障がい	62	9	11	42
		100.0	14.5	17.7	67.7
	難病	50	4	7	39
		100.0	8.0	14.0	78.0

《行動援護・同行援護・移動支援》

上段：件数 下段：%		合計	利用して いる・した ことがある	これから 利用して みたい	無回答
全体		514	46	83	387
		100.0	8.9	16.1	75.3
障 が い 種 別	身体障がい	374	24	56	295
		100.0	6.4	15.0	78.9
	知的障がい	80	24	18	39
		100.0	30.0	22.5	48.8
	精神障がい	62	5	8	49
		100.0	8.1	12.9	79.0
	難病	50	3	10	37
		100.0	6.0	20.0	74.0

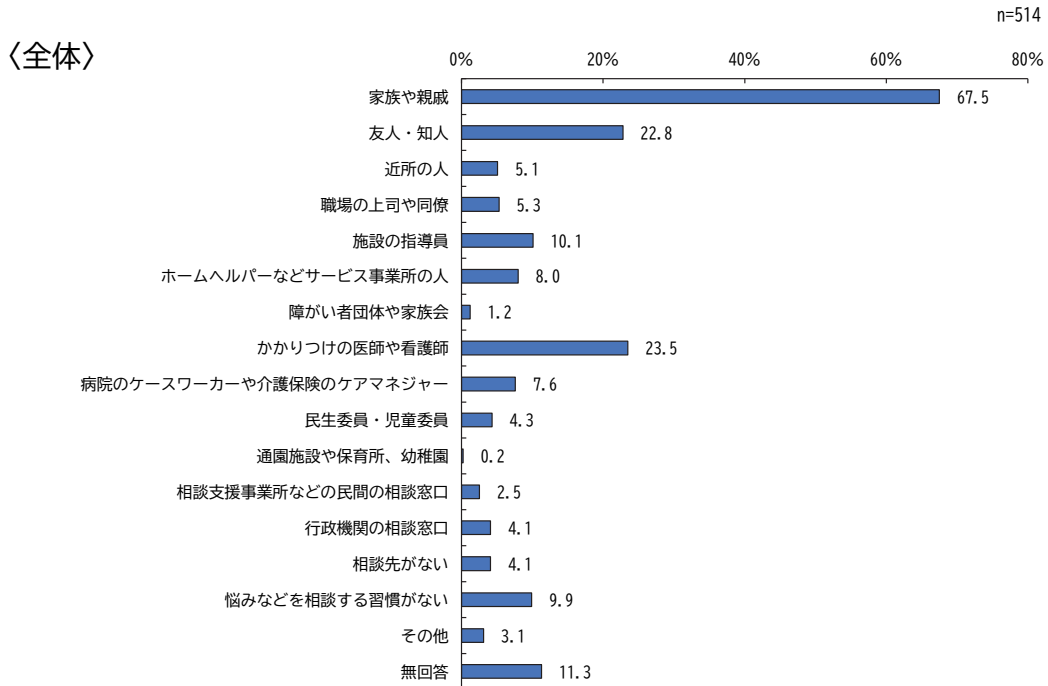
《自立生活援助》

上段：件数 下段：%		合計	利用して いる・した ことがある	これから 利用して みたい	無回答
全体		514	17	80	418
		100.0	3.3	15.6	81.3
障 が い 種 別	身体障がい	374	8	49	317
		100.0	2.1	13.1	84.8
	知的障がい	80	2	25	54
		100.0	2.5	31.3	67.5
	精神障がい	62	8	12	42
		100.0	12.9	19.4	67.7
	難病	50	1	7	42
		100.0	2.0	14.0	84.0

6 相談相手について

問38 あなたは普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「相談相手」については、全体結果、各障がい・病気共に「家族や親戚」が最も多くなっています。
 次の多い回答は、全体と身体、精神障がい者および難病患者では「かかりつけの医師や看護師」が、知的障がい者では「施設の指導員」がそれぞれ最も多くなっています。



〈障がい種別〉

上段：件数 下段：%	合計	家族や親戚	友人・知人	近所の人	職場の上司 や同僚	施設の 指導員	ホームヘル パーなど サービス 事業所の人	障がい者 団体や 家族会	かかりつけ の医師や 看護師	病院のケー スワーカー や介護保険 のケアマネ ジャー	
全体	514 100.0	347 67.5	117 22.8	26 5.1	27 5.3	52 10.1	41 8.0	6 1.2	121 23.5	39 7.6	
障がい種別	身体障がい	374 100.0	253 67.6	89 23.8	25 6.7	11 2.9	25 6.7	29 7.8	3 0.8	91 24.3	31 8.3
	知的障がい	80 100.0	53 66.3	13 16.3	1 1.3	13 16.3	22 27.5	7 8.8	3 3.8	12 15.0	1 1.3
	精神障がい	62 100.0	41 66.1	15 24.2	0 0.0	5 8.1	8 12.9	6 9.7	1 1.6	22 35.5	7 11.3
	難病	50 100.0	34 68.0	13 26.0	3 6.0	4 8.0	3 6.0	5 10.0	0 0.0	19 38.0	6 12.0

上段：件数 下段：%	合計	民生委員・ 児童委員	通園施設や 保育所、 幼稚園	相談支援 事業所など の民間の 相談窓口	行政機関の 相談窓口	相談先が ない	悩みなどを 相談する 習慣がない	その他	無回答	
全体	514 100.0	22 4.3	1 0.2	13 2.5	21 4.1	21 4.1	51 9.9	16 3.1	58 11.3	
障がい種別	身体障がい	374 100.0	22 5.9	0 0.0	2 0.5	16 4.3	11 2.9	34 9.1	6 1.6	44 11.8
	知的障がい	80 100.0	0 0.0	1 1.3	9 11.3	4 5.0	4 5.0	12 15.0	6 7.5	8 10.0
	精神障がい	62 100.0	0 0.0	0 0.0	2 3.2	3 4.8	5 8.1	9 14.5	5 8.1	3 4.8
	難病	50 100.0	2 4.0	0 0.0	0 0.0	3 6.0	5 10.0	3 6.0	3 6.0	2 4.0

問39 あなたは、障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

○「福祉サービス情報などの入手元」については、全体と身体、知的障がい者では「家族や親戚、友人・知人」が、精神障がい者では「かかりつけの医師や看護師」が、難病患者では「インターネット」がそれぞれ最も多くなっています。

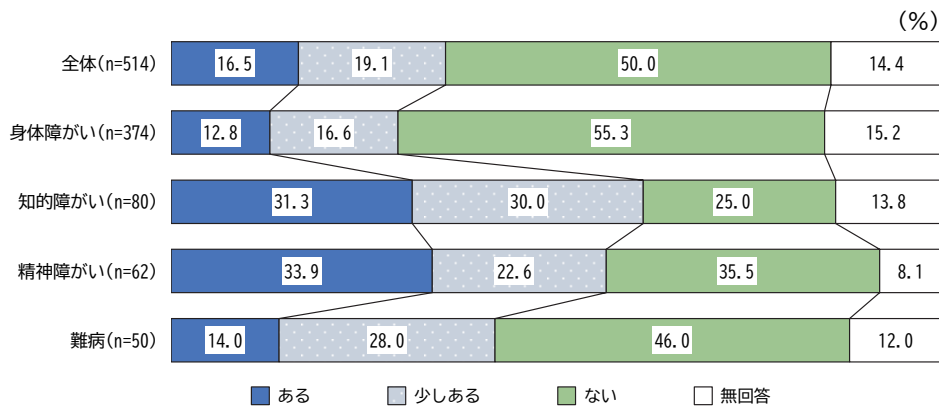
上段：件数 下段：%	合計	本や新聞、 雑誌の記事、テレビ やラジオの ニュース	行政機関の 広報誌	インター ネット	家族や 親戚、 友人・知人	サービス 事業所の人 や施設職員	障がい者団 体や家族会 (団体の機 関誌など)	かかりつけ の医師や 看護師	病院のケー スワーカー や介護保険 のケアマネ ジャー	
全体	514 100.0	104 20.2	113 22.0	69 13.4	145 28.2	73 14.2	14 2.7	92 17.9	61 11.9	
障 が い 種 別	身体障がい	374 100.0	84 22.5	98 26.2	43 11.5	108 28.9	43 11.5	6 1.6	69 18.4	49 13.1
	知的障がい	80 100.0	12 15.0	12 15.0	12 15.0	29 36.3	25 31.3	6 7.5	4 5.0	2 2.5
	精神障がい	62 100.0	11 17.7	3 4.8	13 21.0	12 19.4	9 14.5	4 6.5	19 30.6	9 14.5
	難病	50 100.0	13 26.0	16 32.0	17 34.0	12 24.0	5 10.0	0 0.0	12 24.0	9 18.0

上段：件数 下段：%	合計	民生委員・ 児童委員	通園施設や 保育所、幼 稚園、学校 の先生	相談支援 事業所など の民間の 相談窓口	行政機関の 相談窓口	ほとんど 情報を 得られて いない	情報を得る 必要がない	その他	無回答	
全体	514 100.0	19 3.7	5 1.0	15 2.9	34 6.6	93 18.1	21 4.1	10 1.9	75 14.6	
障 が い 種 別	身体障がい	374 100.0	18 4.8	2 0.5	5 1.3	21 5.6	68 18.2	15 4.0	3 0.8	56 15.0
	知的障がい	80 100.0	0 0.0	4 5.0	8 10.0	5 6.3	15 18.8	3 3.8	4 5.0	10 12.5
	精神障がい	62 100.0	0 0.0	1 1.6	2 3.2	8 12.9	15 24.2	6 9.7	3 4.8	5 8.1
	難病	50 100.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	5 10.0	6 12.0	1 2.0	0 0.0	5 10.0

7 権利擁護について

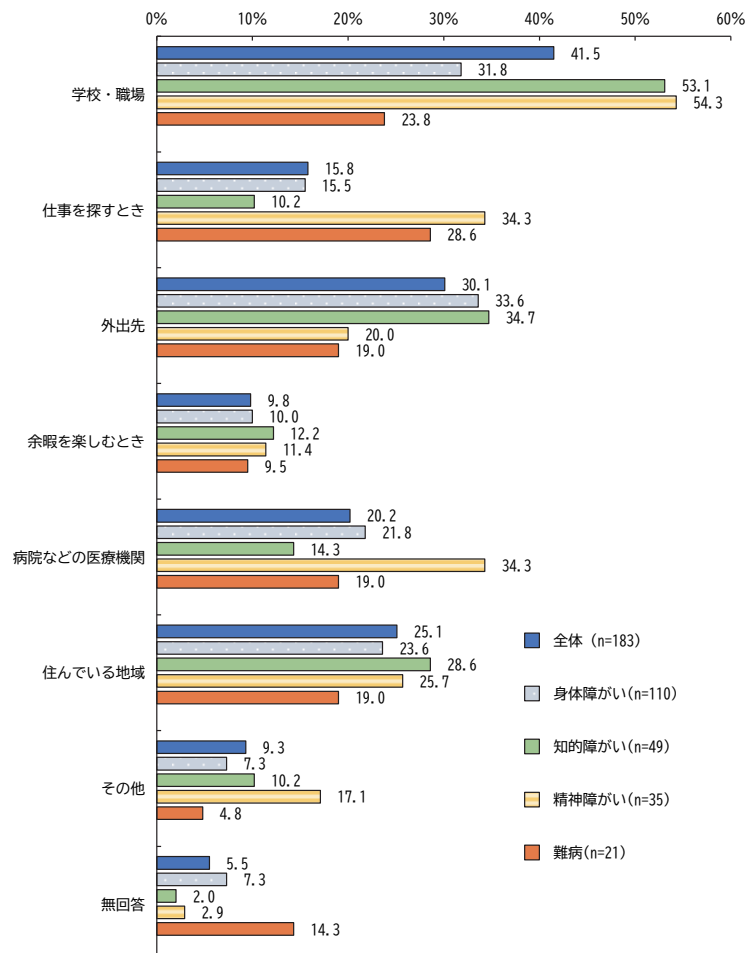
問40 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)

○「差別や嫌な思いの経験」については、全体と身体障がい者および難病患者では「ない」が、知的と精神障がい者では「ある」と「少しある」が多くなっています。



【問40で、「1」または「2」(嫌な思いをした)と回答された方がお答えください。】
問41 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

○「経験した場所」については、全体と知的、精神障がい者では「学校・職場」が、身体障がい者では「外出先」が、難病患者では「仕事を探すとき」がそれぞれ最も多くなっています。



問42 あなたが、障がいのある人への配慮として良いと思ったこと、配慮があつて助かったこと、改善されたと感じたことはありますか。あてはまる場面の番号を【 】内に記入し、
内に具体的な内容をご記入ください。(最大3つまで)

○「配慮として良いと思ったことや配慮があつて助かったこと、改善されたと感じたこと」については、「無回答」を除くと、全体と身体障がい者では「市役所などの行政機関で」が、知的障がい者では「学校、教育の場面で」が、精神障がい者では「病院・診療所などで」が、難病患者では「市役所などの行政機関で」と「病院・診療所などで」がそれぞれ最も多くなっています。

上段：件数 下段：%	合計	市役所などの行政機関で	公共交通、公共施設などで	職場で	学校、教育の場面で	病院・診療所などで	飲食店、習い事などで	福祉サービスで	住む場所や家を借りる場面で	情報、コミュニケーションで	近隣、地域で	特にない	その他	無回答	
全体	514 100.0	50 9.7	24 4.7	13 2.5	10 1.9	35 6.8	2 0.4	20 3.9	0 0.0	0 0.0	7 1.4	8 1.6	7 1.4	389 75.7	
障がい種別	身体障がい	374 100.0	39 10.4	17 4.5	7 1.9	1 0.3	17 4.5	2 0.5	12 3.2	0 0.0	0 0.0	6 1.6	6 1.6	4 1.1	294 78.6
	知的障がい	80 100.0	5 6.3	4 5.0	5 6.3	10 12.5	7 8.8	1 1.3	9 11.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.3	2 2.5	51 63.8
	精神障がい	62 100.0	9 14.5	4 6.5	1 1.6	0 0.0	12 19.4	1 1.6	3 4.8	0 0.0	0 0.0	1 1.6	0 0.0	2 3.2	40 64.5
	難病	50 100.0	6 12.0	2 4.0	0 0.0	0 0.0	6 12.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.0	3 6.0	0 0.0	37 74.0

【「配慮」の具体的な内容】

<市役所などの行政機関>

- ・ゆっくりした話し方をしてくれる。メモをとる時間を待ってくれる。
- ・声かけと市役所内での誘導、事務手続きの代筆等、言葉遣いが丁寧で説明もわかりやすい。
- ・トイレでオムツ替えができるシートが設置された。
- ・すぐに筆談対応してもらえて助かった。ちょっとした手話も使ってくれてうれしかった。

<公共交通、公共施設など>

- ・ヘルプマークができたことで、優先席を利用しやすくなったり譲ってもらえることが増えた。
- ・障がい者用駐車スペースがある。
- ・デパートのエレベーターに車いす優先があった。トイレも広くて使いやすい。

<職場で>

- ・電話対応できなくても大丈夫と温かく迎えてくれ、代わりに対応してくれる。
- ・和式トイレを洋式トイレにもらった。

<学校、教育の場面で>

- ・信じて見守って出来るよう援助、学びをしてくれた。
- ・一人ひとりに合った事をやってくれて、手厚く見守っていただけるので成長が大きい。

<病院・診療所などで、近隣、地域で>

- ・市立病院小児科で、検査などのやり方をイラストに描いて説明してくれた。
- ・車いすが用意されている。スロープがある。車いすトイレが設置されている。
- ・高校生が車いすを押すのを手伝ってくれた。ちょっとした気づかいが大変うれしかった。

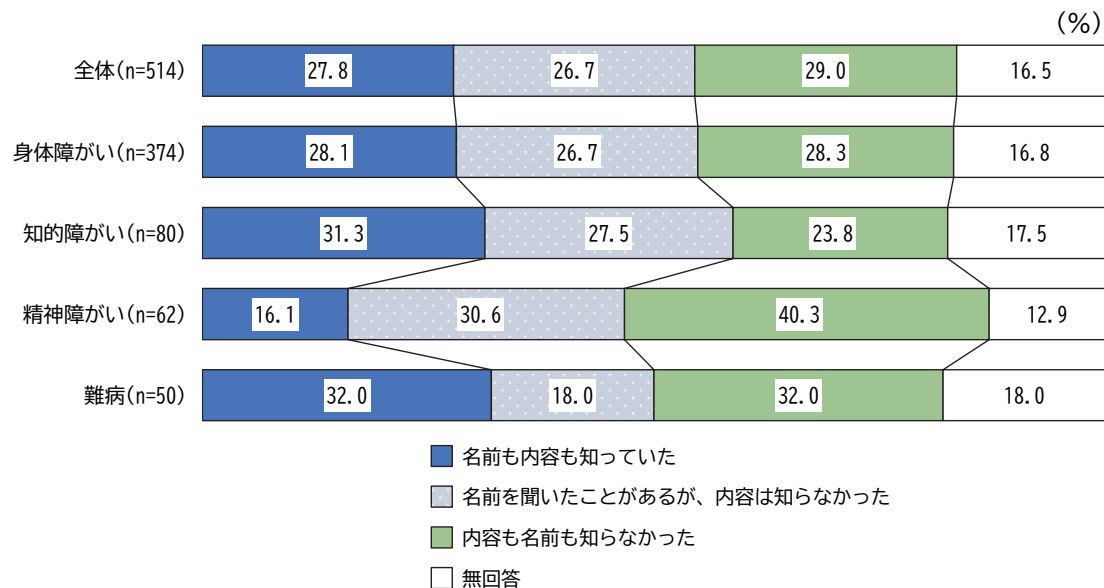
<福祉サービス>

- ・ていねい。生活や見た目について言わない。優しい。
- ・障がいがあっても差別なく介護にあたってもらえること。

問43 あなたは、「成年後見制度」についてご存知でしたか。(○は1つだけ)

※「成年後見制度」は、判断能力が不十分な成年者（認知症の高齢者、知的障がい者、精神障がい者等）が不利益を被らないように家庭裁判所に申し立てをし、その方を援助してくれる方（「後見人」）を付け、財産管理や福祉サービスの利用などを任せる制度です。

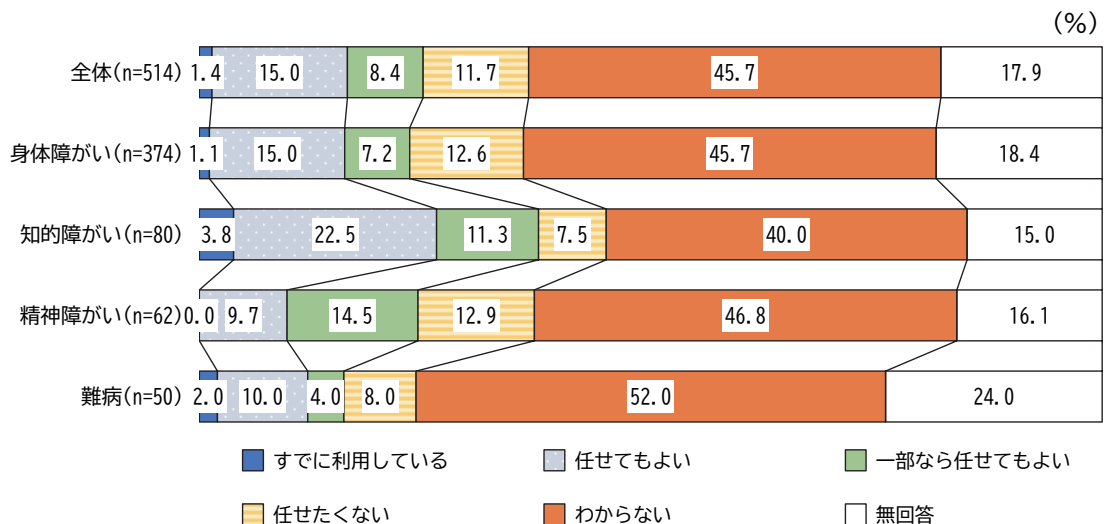
○「成年後見制度」については、全体と身体、精神障がい者では「内容も名前も知らなかった」が、知的障がい者では「名前も内容も知っていた」が、難病患者では「名前も内容も知っていた」と「内容も名前も知らなかった」がそれぞれ最も多くなっています。



問44 あなたは、万一自分自身では判断ができなくなった場合、「成年後見制度」を利用し財産管理などを任せることについて、どう思いますか。(○は1つだけ)

○「成年後見制度を利用すること」については、全体結果、各障がい・病気共に「わからない」が最も多くなっています。

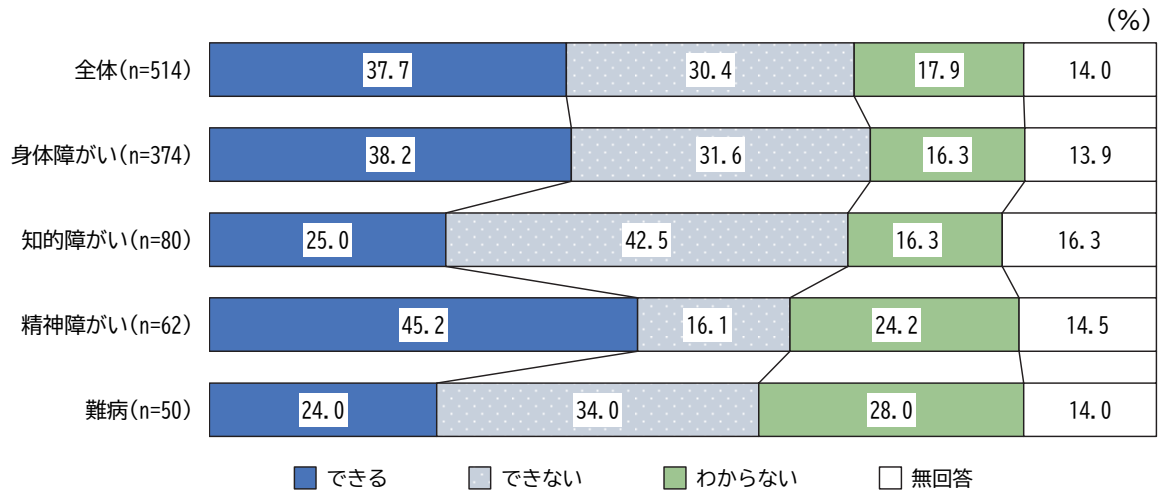
次いで多い回答は、「無回答」を除くと、全体と身体、知的障がい者および難病患者では「任せてもよい」が、精神障がい者では「一部なら任せてもよい」がそれぞれ多くなっています。



8 災害時の避難等について

問45 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

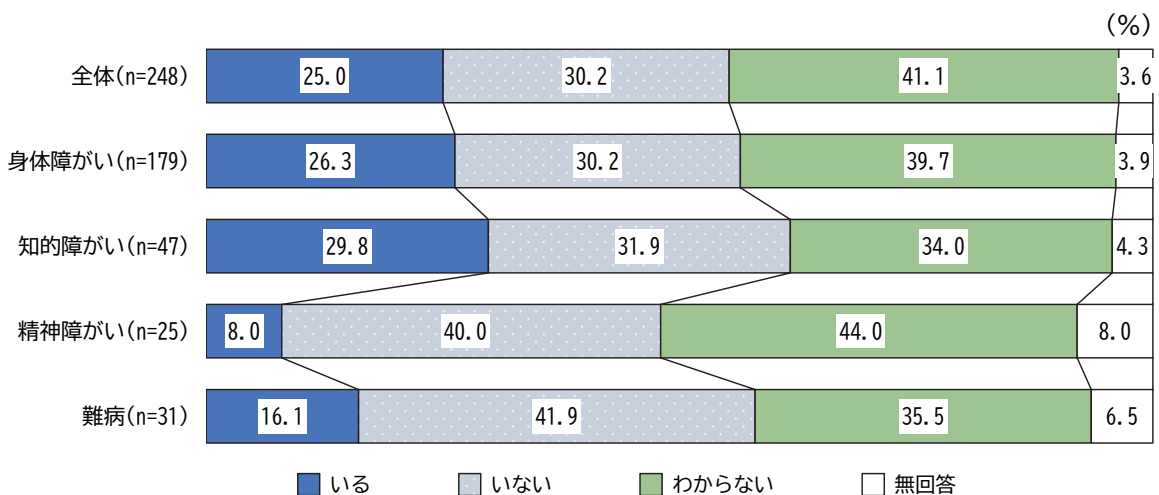
○「災害時に一人で避難できますか」については、全体と身体、精神障がい者では「できる」が、知的障がい者と難病患者では「できない」がそれぞれ最も多くなっています。



【問45で、「2」または「3」(できない・わからない)と回答された方がお答えください。】

問46 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(○は1つだけ)

○「近所にあなたを助けてくれる人はいますか」については、全体結果、各障がいでは「わからない」が、難病患者では「いない」がそれぞれ最も多くなっています。

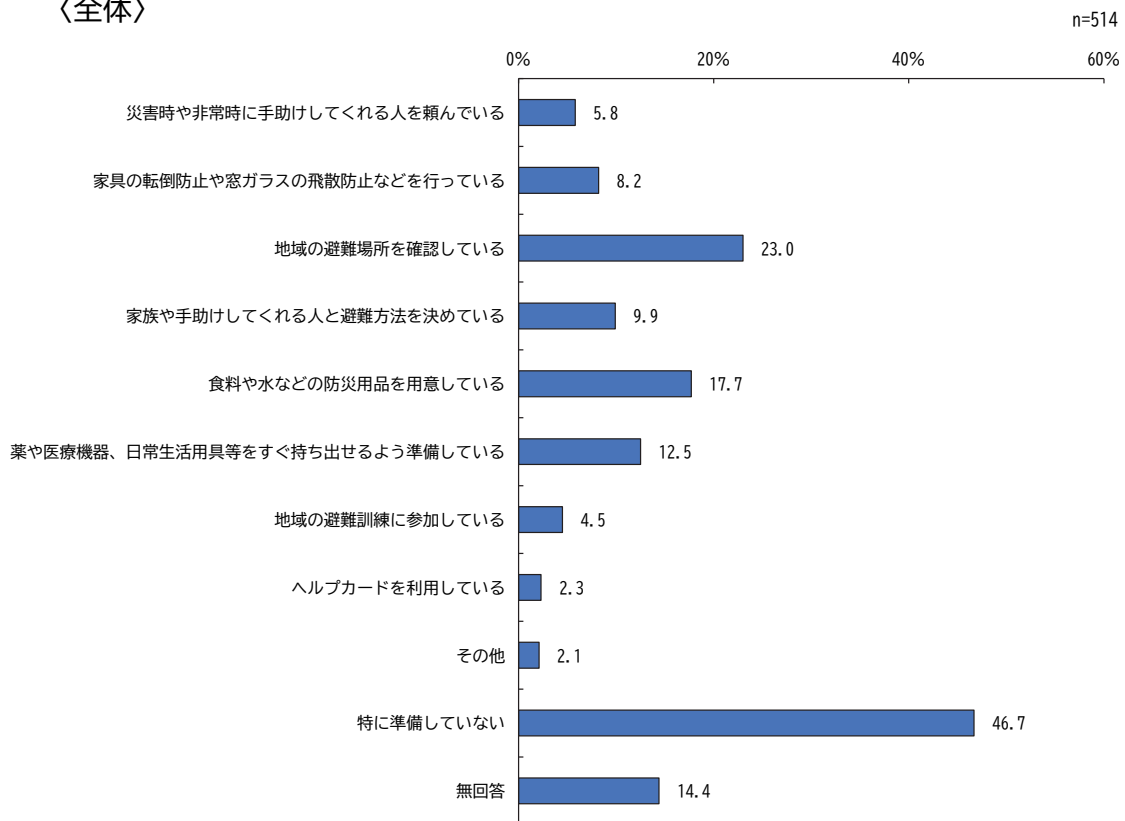


問47 大地震などの災害に備えて、どのような準備をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

○「どのような準備をしていますか」については、全体結果、各障がい・病気共に「特に準備していない」が最も多くなっています。

次いで多い回答は、「無回答」を除くと、全体と身体、知的障がい者および難病患者では「地域の避難場所を確認している」が、精神障がい者では「家具の転倒防止や窓ガラスの飛散防止などを行っている」と「食料や水などの防災用品を用意している」がそれぞれ多くなっています。

〈全体〉



〈障がい種別〉

障がい種別	上段：件数 下段：%	合計	災害時や非常時に手助けしてくれる人を頼んでいる	家具の転倒防止や窓ガラスの飛散防止などを行っている	地域の避難場所を確認している	家族や手助けしてくれる人と避難方法を決めている	食料や水などの防災用品を用意している	薬や医療機器、日常生活用具等をすぐ持ち出せるよう準備している	地域の避難訓練に参加している	ヘルプカードを利用している	その他	特に準備していない	無回答
全体	514 100.0	514	30 5.8	42 8.2	118 23.0	51 9.9	91 17.7	64 12.5	23 4.5	12 2.3	11 2.1	240 46.7	74 14.4
障がい種別	身体障がい	374 100.0	20 5.3	27 7.2	91 24.3	34 9.1	75 20.1	55 14.7	16 4.3	6 1.6	6 1.6	170 45.5	53 14.2
	知的障がい	80 100.0	7 8.8	8 10.0	20 25.0	15 18.8	14 17.5	5 6.3	5 6.3	5 6.3	6 7.5	29 36.3	9 11.3
	精神障がい	62 100.0	2 3.2	6 9.7	4 6.5	2 3.2	6 9.7	4 6.5	3 4.8	0 0.0	2 3.2	40 64.5	9 14.5
	難病	50 100.0	2 4.0	4 8.0	13 26.0	6 12.0	10 20.0	5 10.0	1 2.0	2 4.0	2 2.0	1 44.0	22 44.0

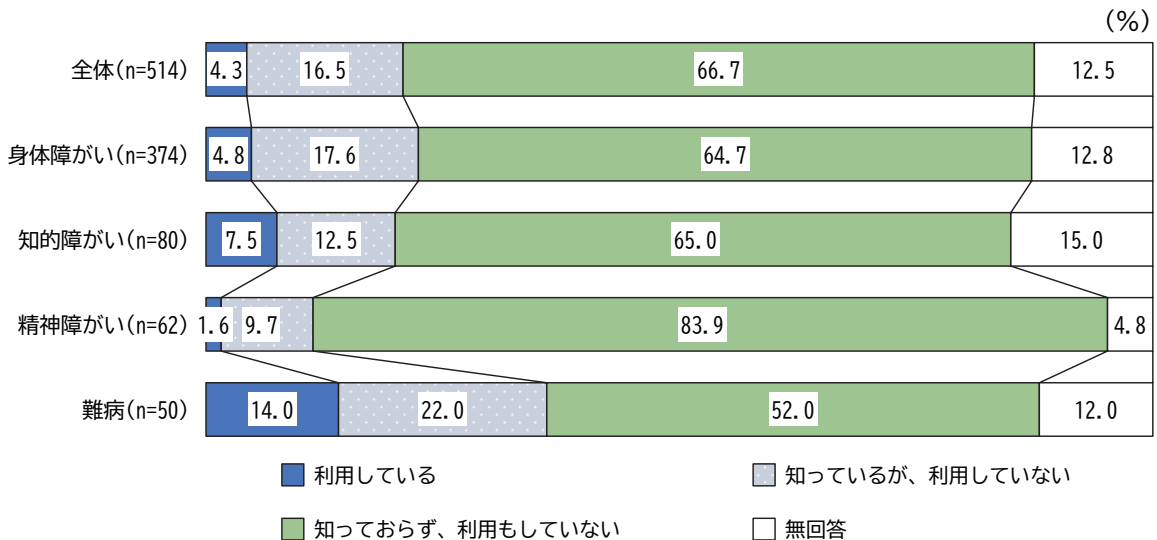
問48 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

○「火事や地震等の災害時に困ること」については、全体と身体、精神障がい者および難病患者では「投薬や治療が受けられない」が、知的障がい者では「周囲とコミュニケーションがとれない」がそれぞれ最も多くなっています。

上段：件数 下段：%	合計	投薬や治療 が受けられ ない	補装具の 使用が困難 になる	補装具や 日常生活 用具の入手 ができなく なる	救助を 求めること ができない	安全な所 まで迅速に 避難する ことができ ない	被害状況、 避難場所 などの情報 が入手でき ない	周囲と コミュニ ケーション がとれない	避難場所の 設備（トイレ 等）や 生活環境が 不安	特にな い	その他	無回答	
全体	514 100.0	243 47.3	41 8.0	46 8.9	79 15.4	183 35.6	80 15.6	83 16.1	207 40.3	52 10.1	20 3.9	80 15.6	
障がい 種別	身体障がい	374 100.0	185 49.5	39 10.4	39 10.4	52 13.9	139 37.2	48 12.8	37 9.9	152 40.6	38 10.2	11 2.9	57 15.2
	知的障がい	80 100.0	29 36.3	6 7.5	9 11.3	28 35.0	34 42.5	28 35.0	35 43.8	33 41.3	7 8.8	4 5.0	13 16.3
	精神障がい	62 100.0	33 53.2	0 0.0	2 3.2	6 9.7	13 21.0	7 11.3	18 29.0	24 38.7	6 9.7	6 9.7	8 12.9
	難病	50 100.0	27 54.0	6 12.0	4 8.0	6 12.0	21 42.0	2 4.0	3 6.0	20 40.0	2 4.0	0 0.0	8 16.0

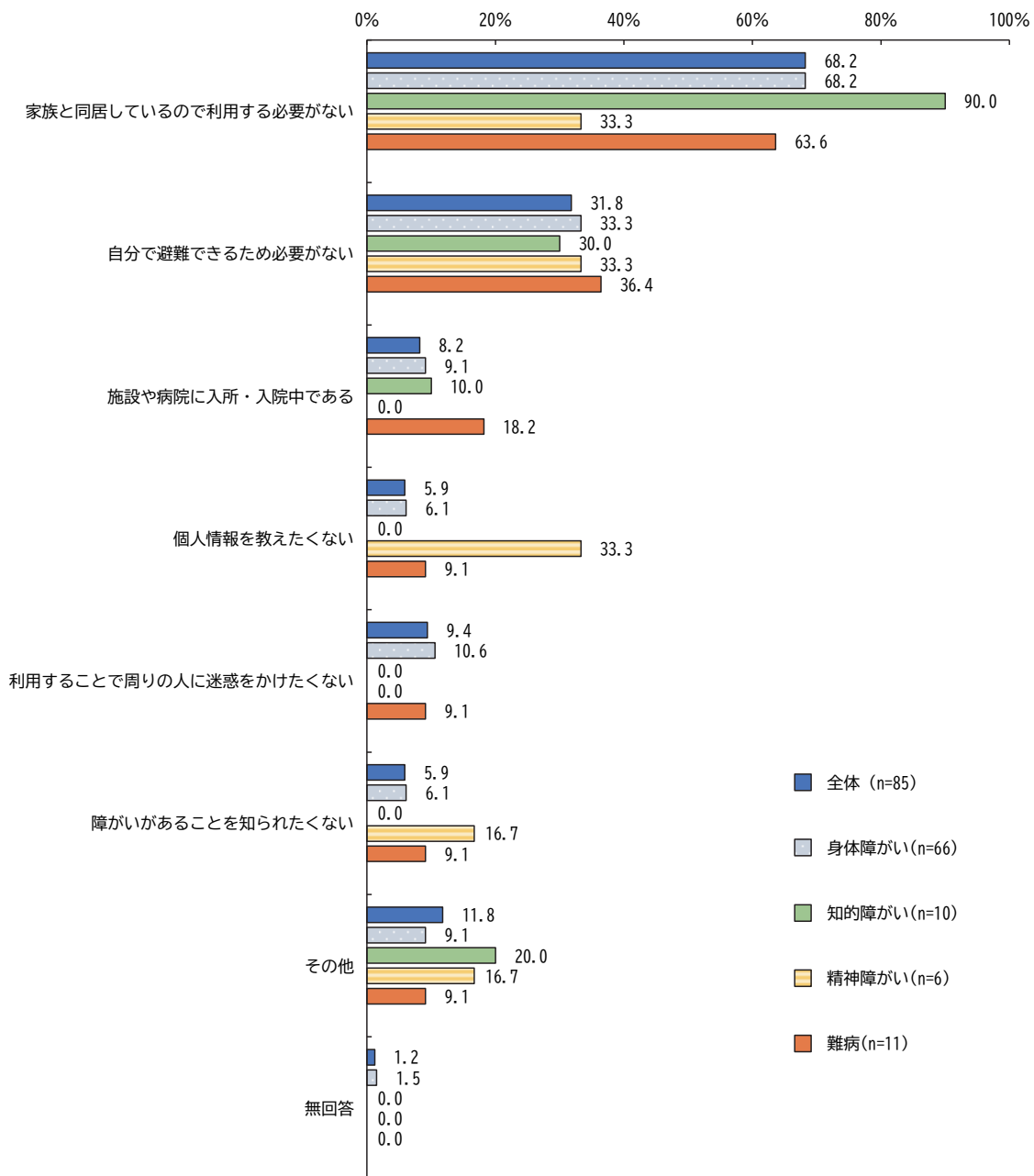
問49 秩父市では、地域の自主組織などに住所や氏名、身体の状態などの個人情報を登録し災害時に避難誘導や情報伝達を受ける制度（「避難行動要支援者支援制度」）を実施していますが、あなたは利用していますか。（○は1つだけ）

○『「避難行動要支援者支援制度」の利用（登録）状況』については、全体結果、各障がい・病気共に「知らず、利用もしていない」が最も多くなっていますが、難病患者では「利用している」が比較的多く10%以上を占めており、特徴的になっています。



【問49で、「2（知っているが、利用していない）」と回答された方がお答えください。】
 問50 あなたが現在、「避難行動要支援者支援制度」を利用していない理由は何ですか。
 （あてはまるものすべてに○）

○「『避難行動要支援者支援制度』を利用していない理由」については、全体と身体、知的障がい者および難病患者では「家族と同居しているので利用する必要がない」が、精神障がい者では「家族と同居しているので利用する必要がない」と「自分で避難できるため必要がない」、「個人情報をお教えたくない」がそれぞれ最も多くなっています。



◎最後に、障害福祉サービスや行政の取り組みについて何かご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

○自由記述形式でたくさんのご意見をいただきました。その一部を紹介します。

- ・行政で企画されていることに参加できる人は、限られているように見える。
- ・手続きが多すぎて家族に負担がかかる。マイナンバーの紐づけはとても良いと思った。単身でも手続きできるようにしてほしい。
- ・年に何回か市役所に行かないといけない。マイナンバーカードで結ぶことはできないか。
- ・一人で行政の窓口に行って書類を渡されても記入できない。代筆が認められると助かる。
- ・市役所窓口に行かなくても書類手続きできるようにしてほしい。
- ・困っている人（本人・家族）が気軽に相談できる窓口があるといい。
- ・老後への不安が大きい。自分で動けなくなり買い物できなくなるのが心配。バス等の移動手段を増やしてほしい。通院、買い物で移動する手段がない。公共交通機関が少なく不便。
- ・同じ障がい者（聴覚障がい）同士の集合の機会があまりない。
- ・市職員全体で、障がいに対する理解を深めてほしい。
- ・行政に携わっている方が障がい者に対してどれくらい理解しているか疑問がある。
- ・近隣の方の障がい者に対する理解が乏しい。
- ・親の緊急時に預かってくれる場があればよい。今は親族の葬式でも断らざるを得ない。
- ・家族の用事等でショートステイを利用したいが、地域で利用できる施設がなく困っている。県内の利用できる施設は遠く、送迎等が大変。
- ・聴覚障がい者の就労環境を整えてほしい。できる事で障がい者枠で雇ってほしい。またその環境を増やしてほしい。
- ・娘は肢体不自由で医療的ケアが必要だが、日中一時で受け入れを始めてくれたので、この夏は今までに比べて穏やかに暮らせそう。
- ・親が亡くなったあとも、安心して暮らしていける秩父市にしてほしい。
- ・何か災害があった場合に、安全な場所へ連れ出してほしい。
- ・避難行動要支援者支援制度を知らなかったなので、広く知らせてほしい。
- ・自立して自活できるようリハビリしている。そういう障がい者が自活できるよう取り組んでほしい。
- ・地域には民生委員や福祉関係者の方がいるが、定期的な連絡をして安心感を与えてくれると良いと思う。
- ・他の地域で利用できるサービスも秩父市では申請できないものが多かったりするので、必要なものが助成されると良い。
- ・パソコンかスマートフォンでアンケートに回答できれば良い。
- ・学校を卒業すると周囲仲間と活動できる場がないため、ボランティア支援の活動できる場所、人がほしい。
- ・障がい者に対して差別してほしくない。平等に見てほしい。秩父に移住したら経験し、初めて障がいの重さを感じた。悲しい。
- ・このアンケートの書き方と説明がわりとわかりやすく書かれていてよかった（フリガナがついているとか）。
- ・アート展などの発表の場があることはよいことだと思う。
- ・自分も社会の一員としてできる事はやっていきたい、世のため人のために尽くして。でも、無理せず人生も楽しみたい。

第3章

付属資料
